

医療費分析結果について

～1人当たり医療費における鹿児島支部と全国平均との経年比較～

【留意事項】

- 本資料のデータは、協会けんぽHPに掲載してある「加入者基本情報」及び「医療費基本情報」を使用しています。
- 本資料のデータは、「請求ベース」の数値であり、HPに掲載している「協会けんぽ月報」の数値（「確定ベース」）とは一致しません。
- 疾病分類については、複数の傷病が記載されているレセプトから主傷病を特定して分類したものです。レセプトの主傷病があることを表すフラグがある場合はその傷病を、ない場合はレセプトに記載されている順番が最も早い（先頭に記載されている）傷病を主傷病としています。

令和2年10月

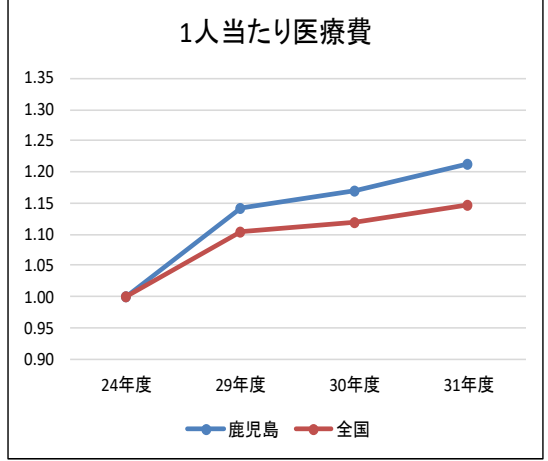
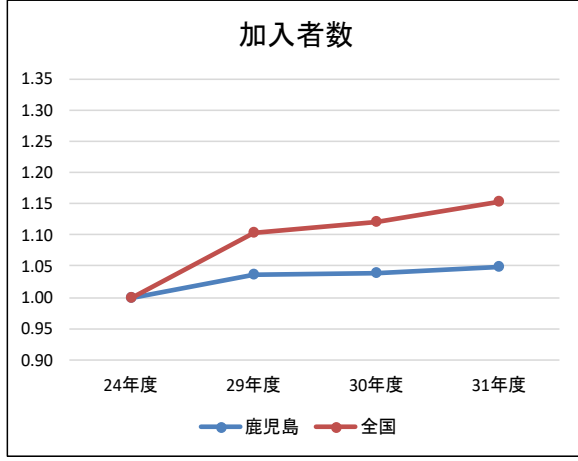
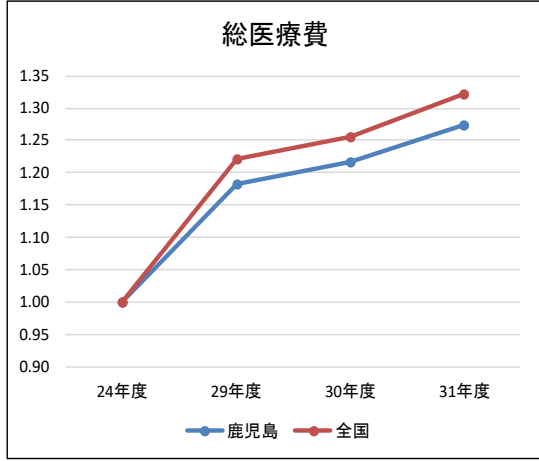
資料目次

【入院・入院外】医療費の推移等	1
【入院】1人当たり医療費	2
【入院外】1人当たり医療費	3
【入院】受診率	4
【入院外】受診率	5
【入院】1件当たり日数	6
【入院外】1件当たり日数	7
【入院】1日当たり医療費	8
【入院外】1日当たり医療費	9
【入院】1人当たり医療費における3要素の影響	10
【入院外】1人当たり医療費における3要素の影響	11
【まとめ】	12
<hr/>		
【入院】疾病別の1人当たり医療費(被保険者)	13
【入院】新生物にかかる1人当たり医療費(31年度 被保険者)	14
【入院】循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被保険者)	15
【入院】筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被保険者)	16
【入院】疾病別の1人当たり医療費(被扶養者)	17
【入院】神経系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	18
【入院】呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	19
【入院】筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	20
【入院】妊娠、分娩及び産じょくにかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	21
【入院】周産期に発生した病態にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	22
【入院外】疾病別の1人当たり医療費(被保険者)	23
【入院外】循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被保険者)	24
【入院外】筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被保険者)	25
【入院外】腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被保険者)	26
【入院外】疾病別の1人当たり医療費(被扶養者)	27
【入院外】循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	28
【入院外】呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	29
【入院外】腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費(31年度 被扶養者)	30
【まとめ】	31

【入院・入院外】医療費の推移等

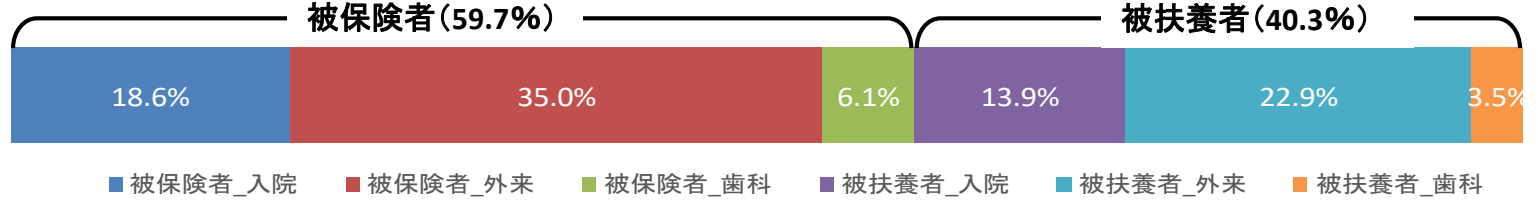
- ▶ 全国の総医療費と比較すると、伸び率は全国より低く、推移は同程度である。
- ▶ 全国の加入者数と比較すると、伸び率は全国より低く、かい離幅は拡大している。
- ▶ 全国の1人当たり医療費と比較すると、伸び率は全国より高く、かい離幅は拡大傾向である。

「24年度を1とした、総医療費・加入者数・1人当たり医療費の推移」



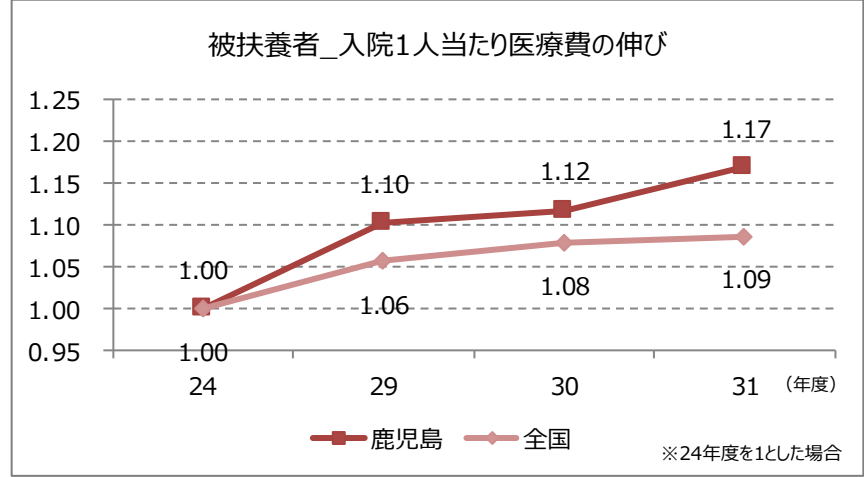
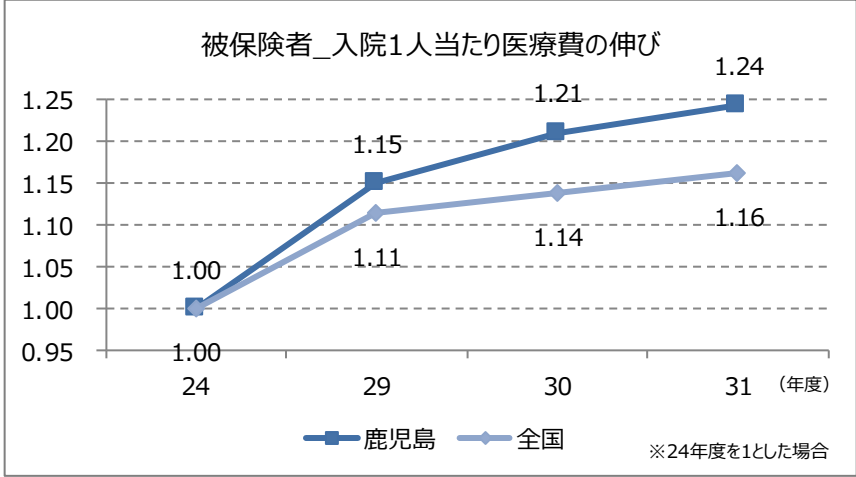
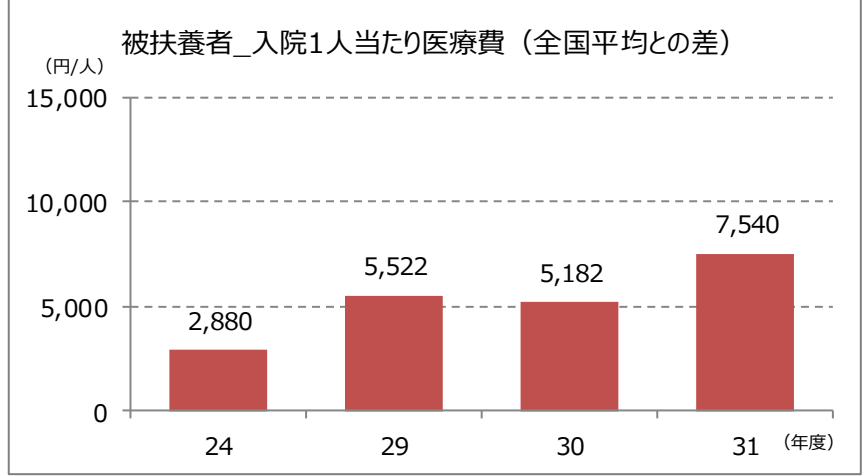
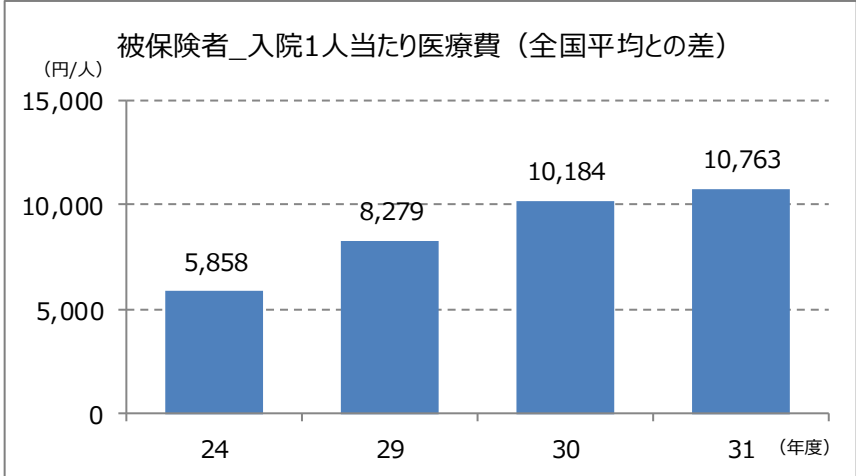
鹿児島支部		24年度	29年度	30年度	31年度
総医療費(千円)	被保険者	51,266,645	63,430,304	66,433,513	70,422,791
	被扶養者	41,276,949	46,063,539	46,135,788	47,446,488
加入者(人)	被保険者	329,267	353,066	357,080	364,298
	被扶養者	264,069	261,184	259,263	258,193
一人当たり医療費(円)	被保険者	155,699	179,655	186,046	193,311
	被扶養者	156,311	176,364	177,950	183,764

■ 鹿児島支部総医療費の割合(31年度)



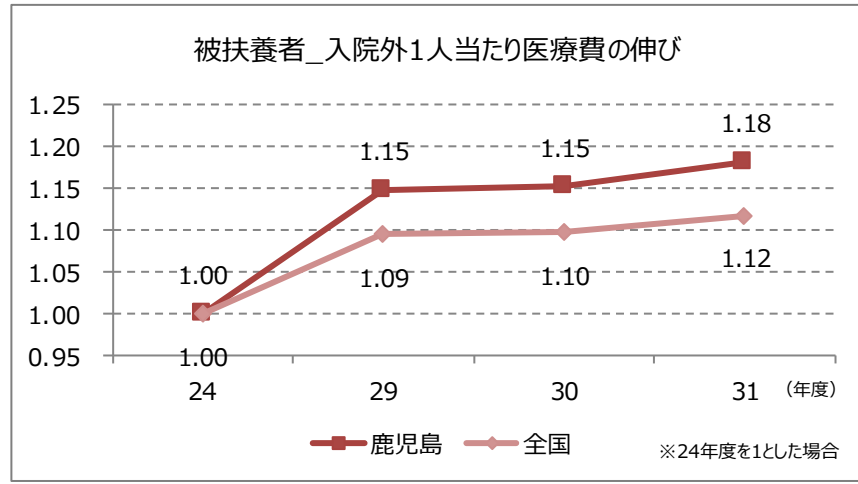
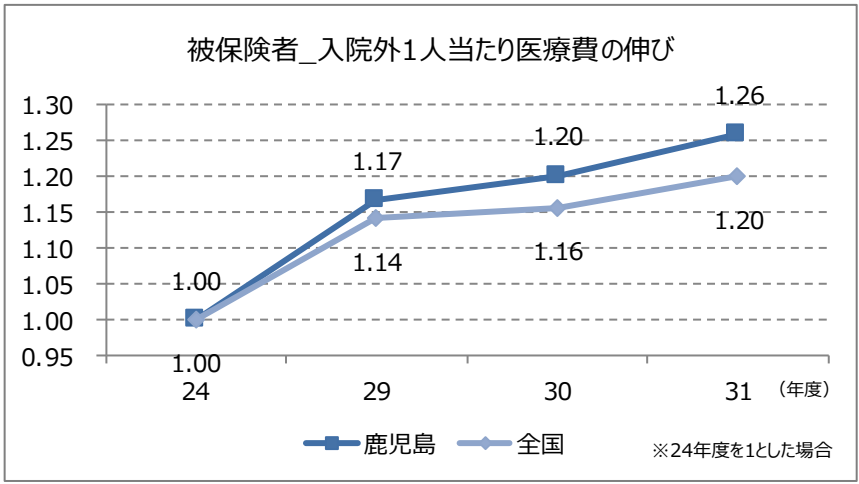
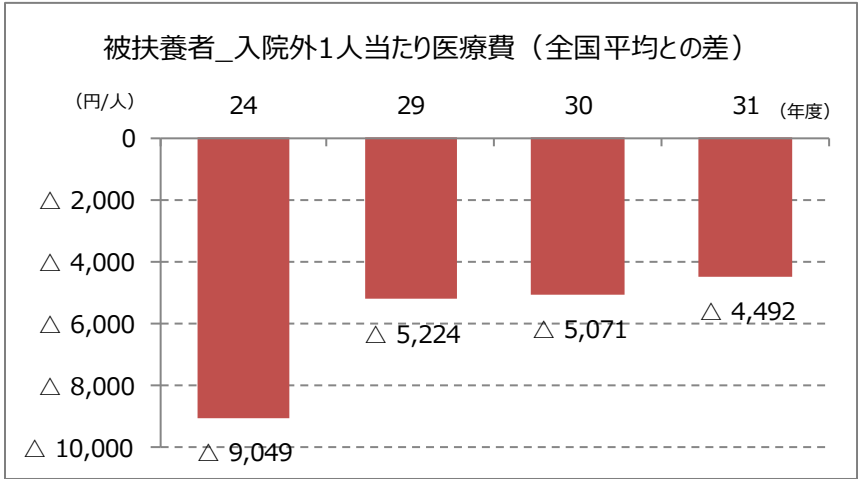
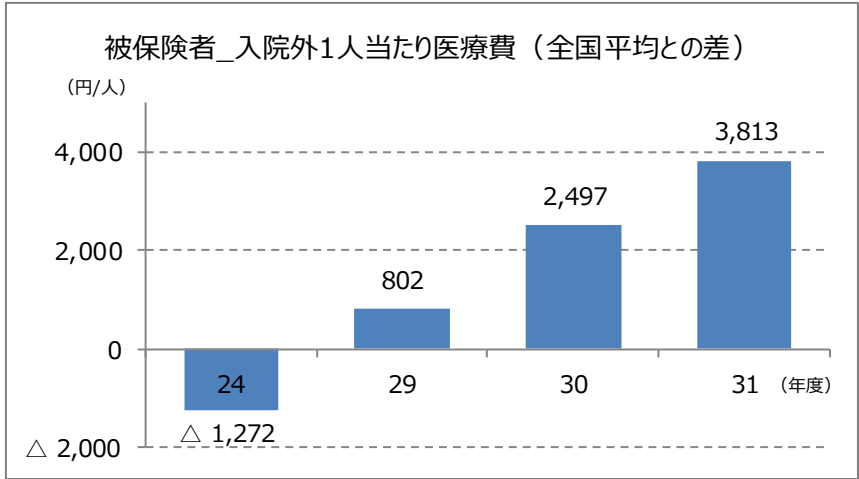
【入院】1人当たり医療費

- ▶ 入院1人当たり医療費における全国平均との差は、被保険者のほうが大きく、被保険者・被扶養者ともに拡大傾向にある。
- ▶ 入院1人当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向である。また、全国平均と比較すると、被保険者・被扶養者ともに差が拡大している。



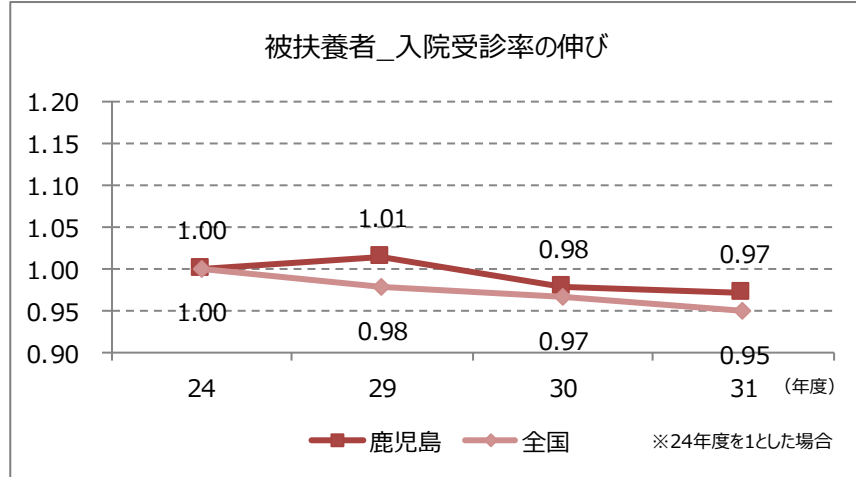
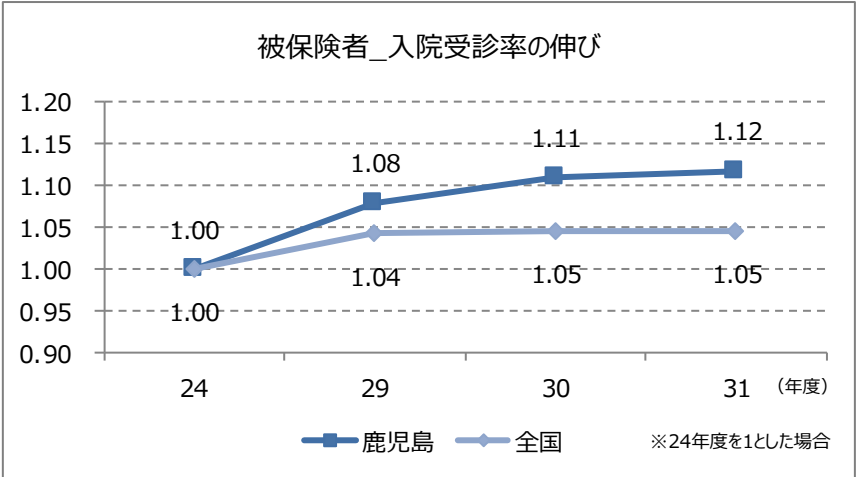
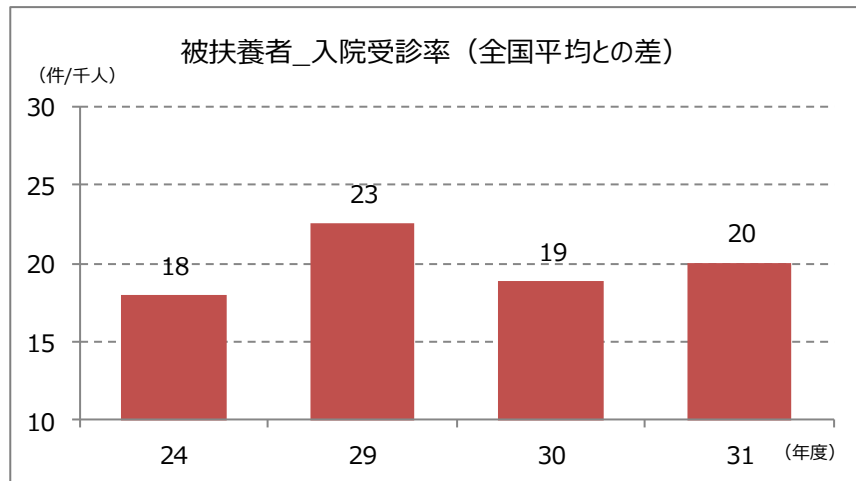
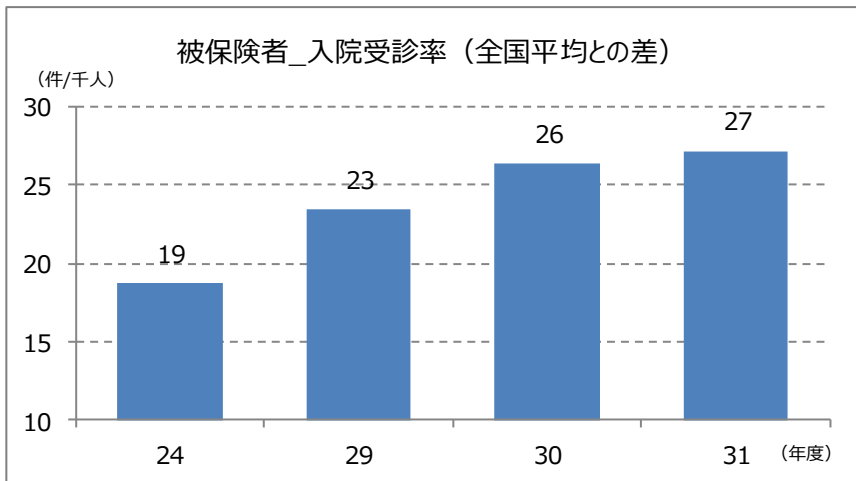
【入院外】1人当たり医療費

- ▶ 入院外1人当たり医療費における全国平均との差は、被保険者は近年上回っている。被扶養者は、下回っている状況ではあるが、年々縮小傾向にある。
- ▶ 入院外1人当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向である。全国平均と比較すると、かい離幅も拡大傾向である。



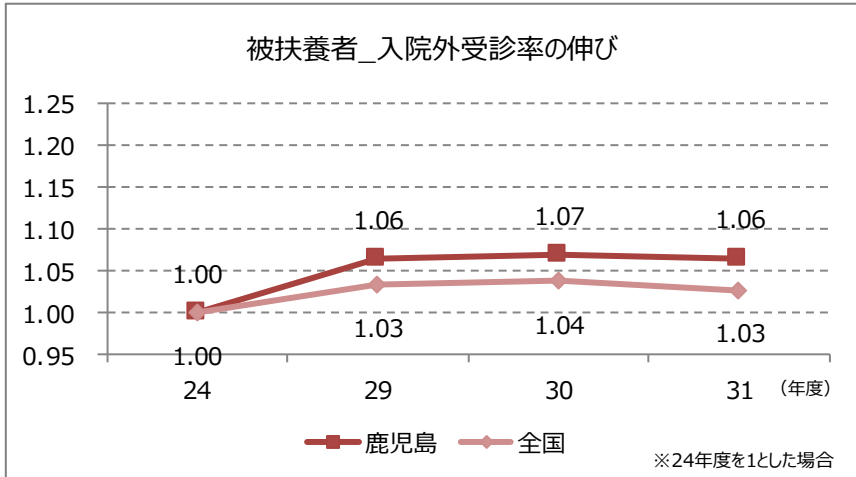
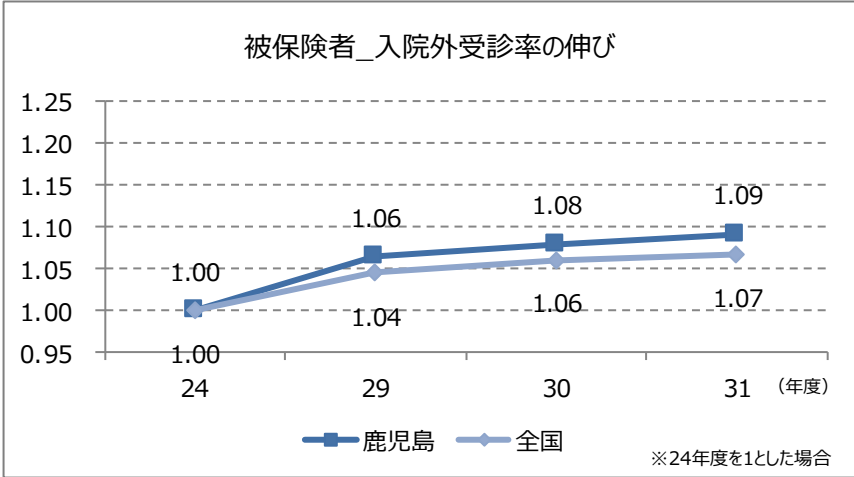
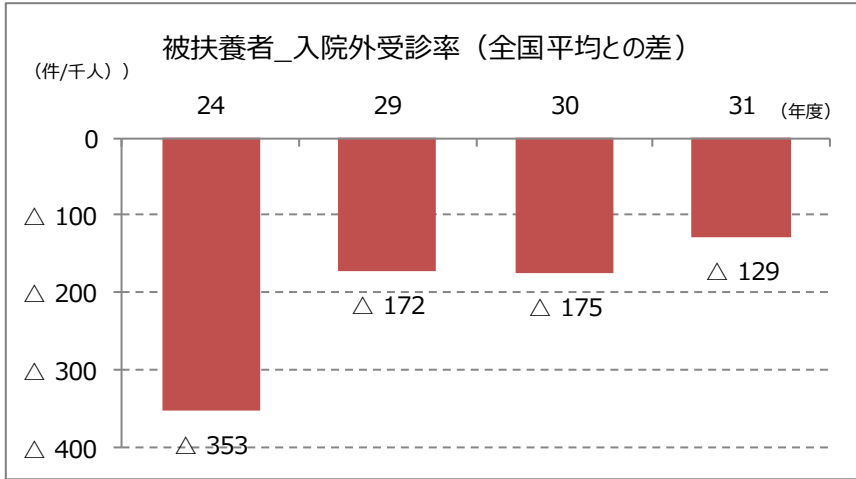
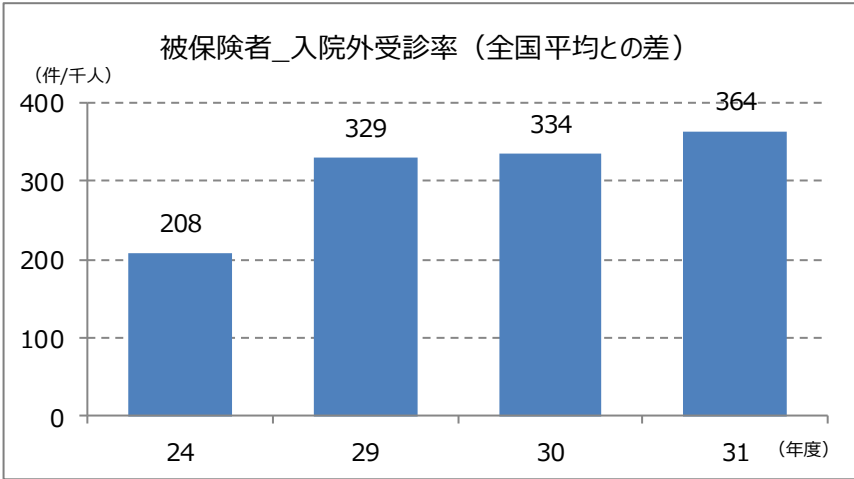
【入院】受診率

- ▶ 入院受診率における全国平均との差は、被保険者は年々増加しており、被扶養者は横ばいである。
- ▶ 入院受診率の伸びは、被保険者は増加傾向、被扶養者は減少傾向である。また、全国平均と比較すると、被保険者のかい離幅は拡大傾向であり、被扶養者は、ほぼ同程度に推移している。



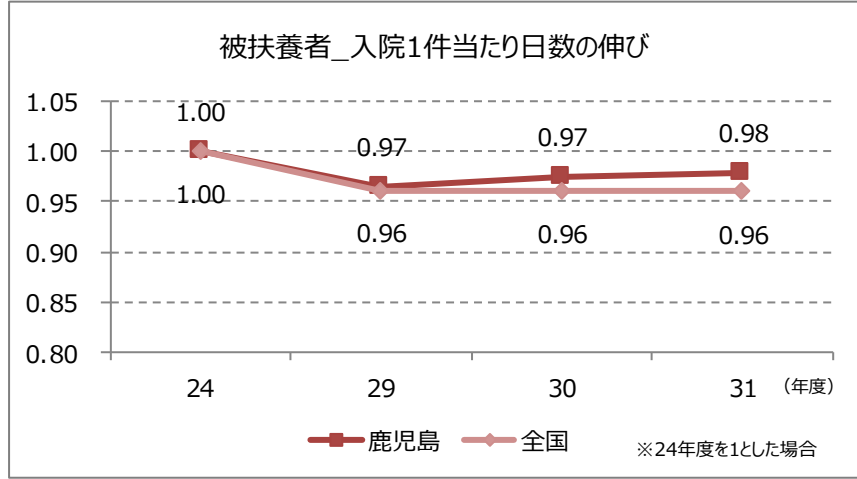
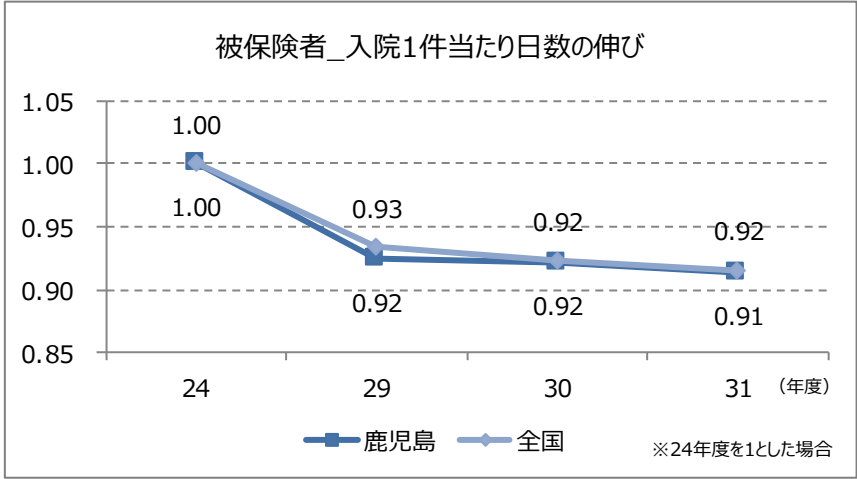
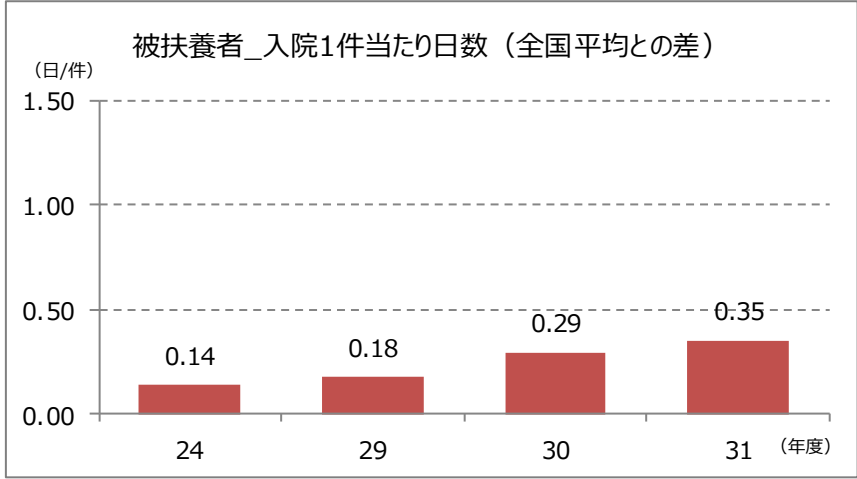
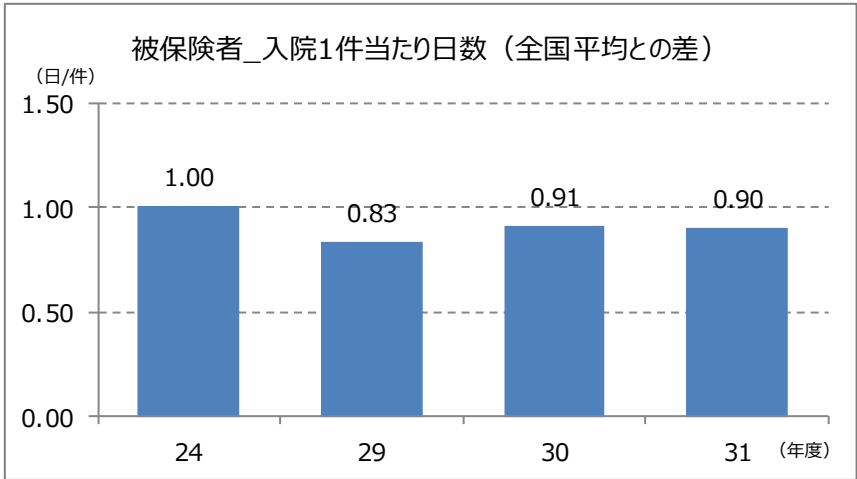
【入院外】受診率

- ▶ 入院外受診率における全国平均との差は、被保険者は上回っており、被扶養者は下回っている。
- ▶ 入院外受診率の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加しているが、かい離幅はほぼ同程度で推移している。



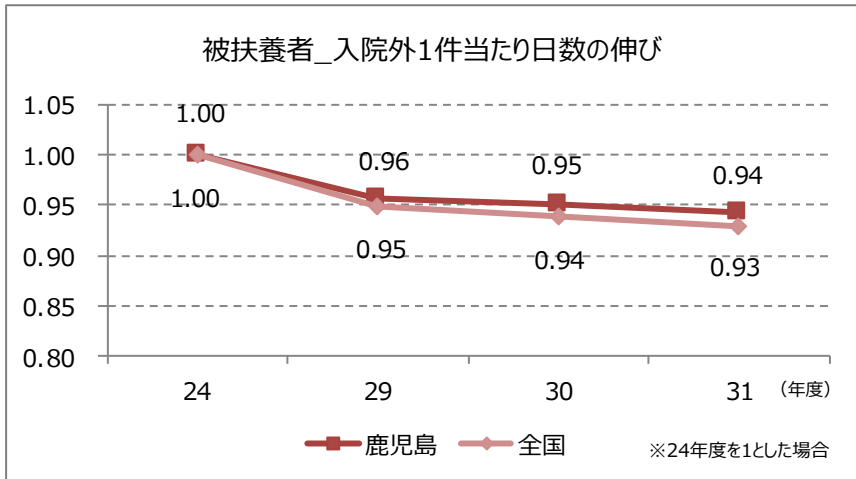
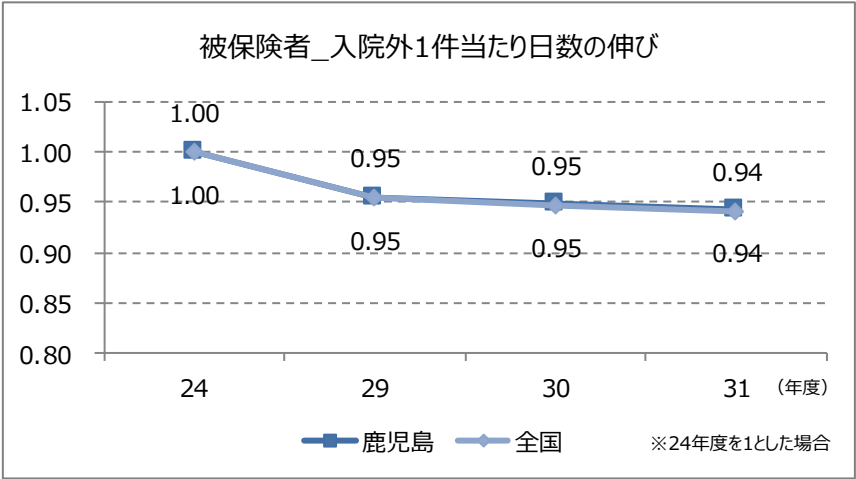
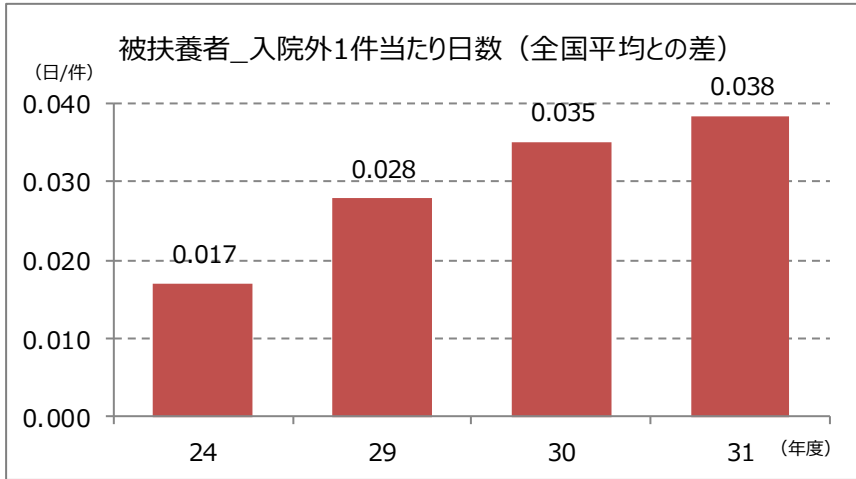
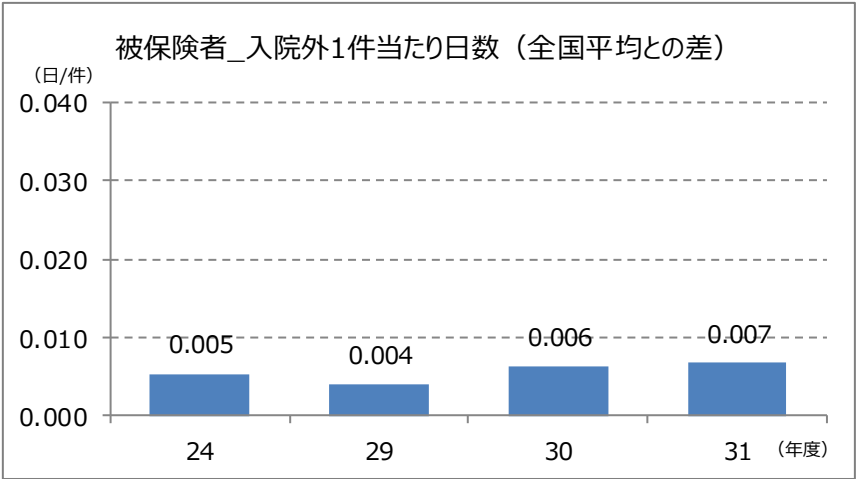
【入院】1件当たり日数

- 入院1件当たり日数における全国平均との差は、被保険者のほうが大きい。
- 入院1件当たり日数の伸びは、被保険者は減少傾向である。また、全国平均と比較すると、被保険者は同程度に落ち着いており、被扶養者は若干増加傾向にある。



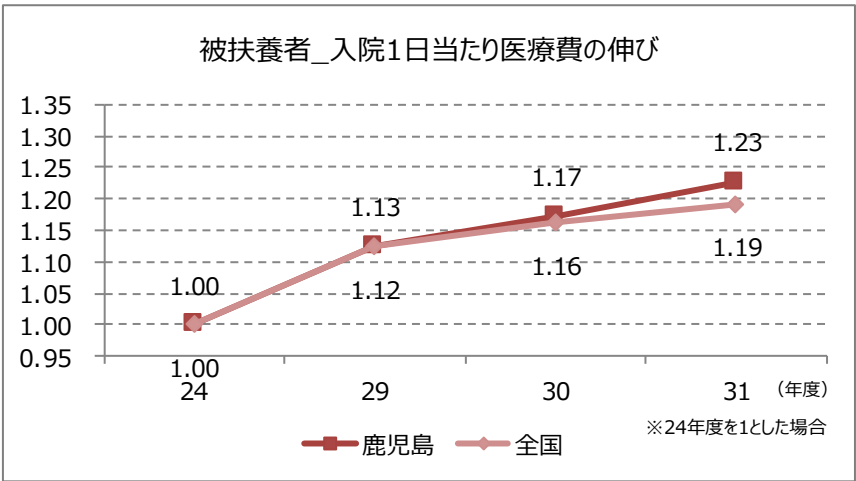
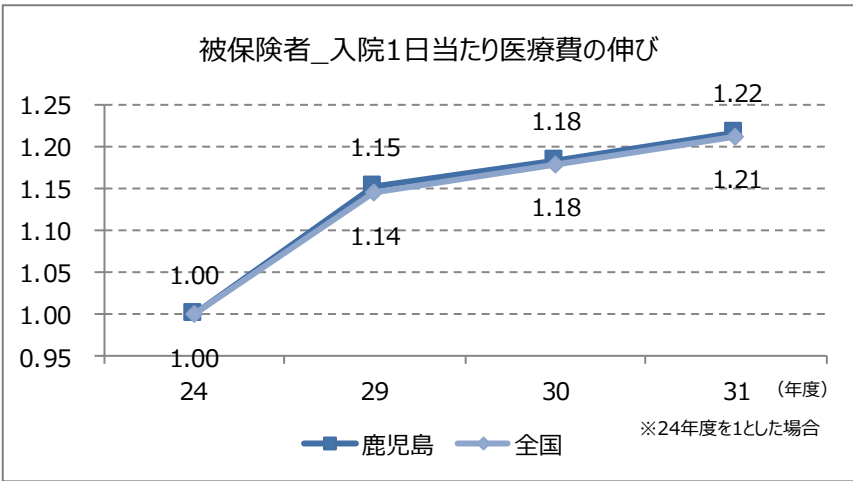
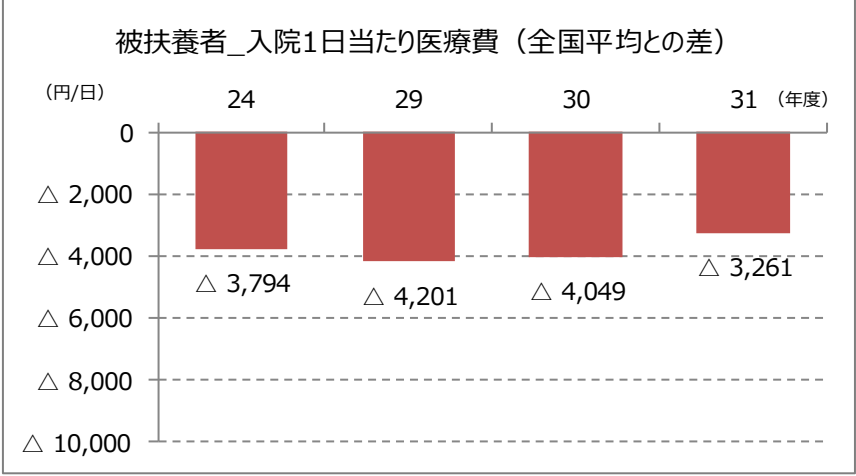
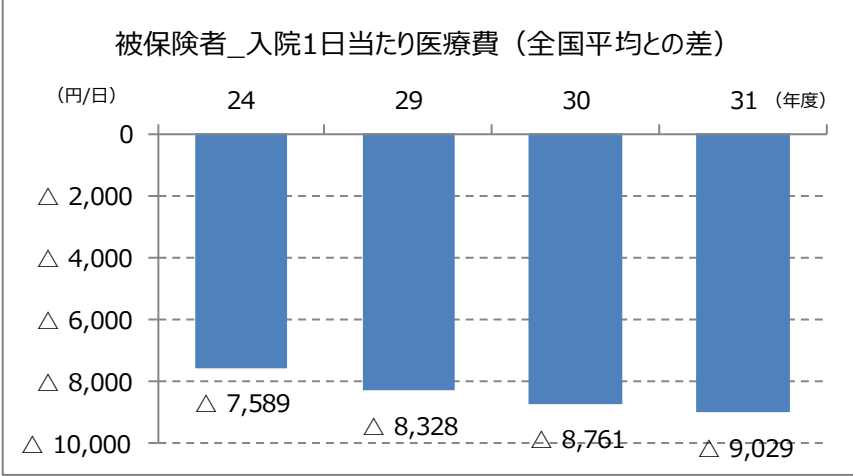
【入院外】1件当たり日数

- ▶ 入院外1件当たり日数における全国平均との差は、被扶養者のほうが大きい。
- ▶ 入院外1件当たり日数の伸びは、被保険者・被扶養者ともに横ばいであり、全国平均と比較すると、同程度で落ち着いている。



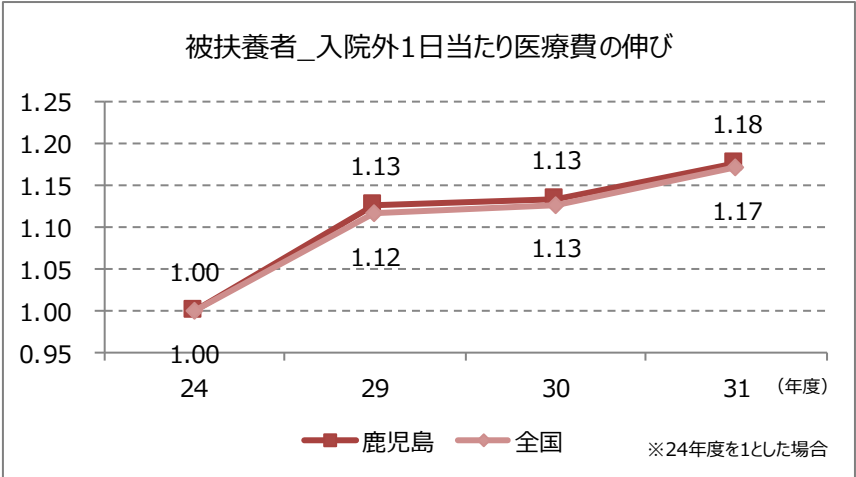
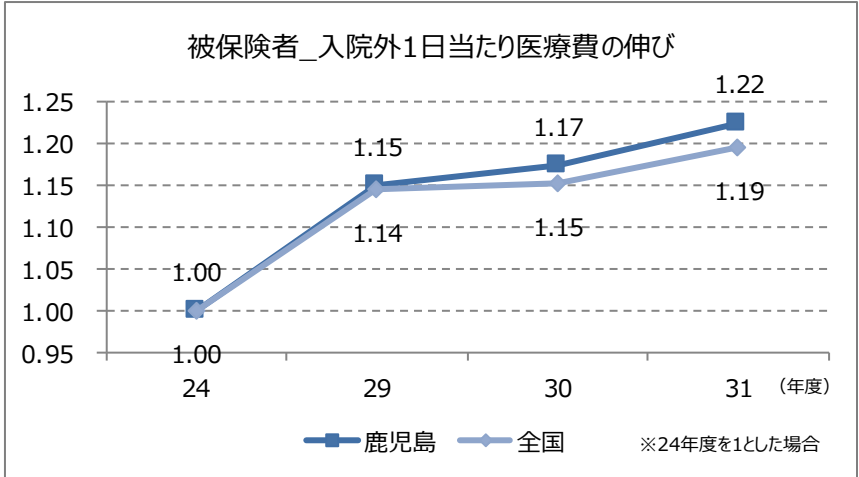
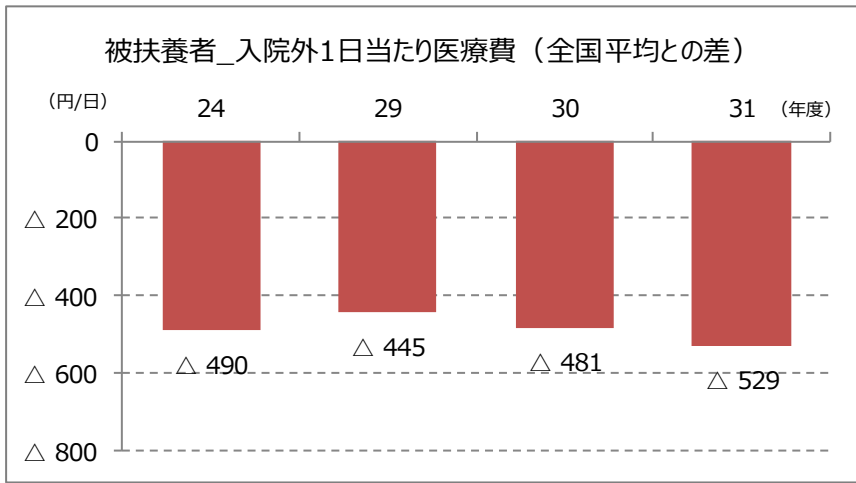
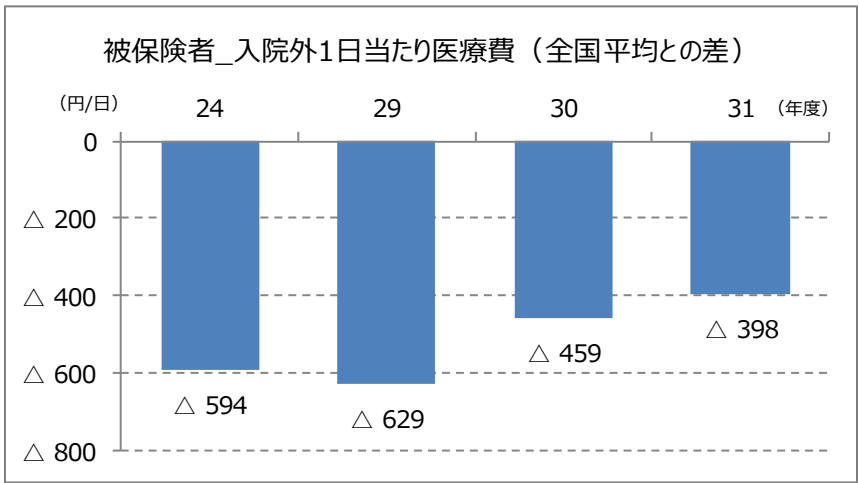
【入院】1日当たり医療費

- ▶ 入院1日当たり医療費の全国平均との比較について、被保険者・被扶養者ともに全国平均よりも低い。また、被保険者と被扶養者の全国平均との差を比較すると、入院1日当たり医療費は、被保険者より被扶養者のほうが高い。
- ▶ 入院1日当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者ともに増加傾向ではある。全国平均と比較すると被保険者のかい離幅は横ばいであるが、被扶養者のかい離幅は拡大傾向である。



【入院外】1日当たり医療費

- ▶ 入院外1日当たり医療費の全国平均との比較について、被保険者・被扶養者ともに全国平均よりも低い。また、全国平均との差を比較すると、被保険者は縮小傾向にあり、被扶養者は、ほぼ横ばいにある。
- ▶ 入院外1日当たり医療費の伸びは、被保険者・被扶養者とも増加傾向であり、全国平均と比較すると被保険者のかい離幅は拡大傾向である。



【入院】1人当たり医療費における3要素の影響

- 24年度と31年度の鹿児島支部と全国平均の1人当たり医療費の差は、被保険者4,906円、被扶養者4,660円である。
- 3要素の内訳をみると、被保険者・被扶養者ともに、受診率の違いによる差に大きく影響を受けている。

【入院】	被保険者		被扶養者	
	24年度	31年度	24年度	31年度
鹿児島支部1人当たり医療費（円）	48,403	60,164	54,359	63,489
全国平均1人当たり医療費（円）	42,546	49,401	51,480	55,949
鹿児島支部と全国平均の差（円）	5,858	10,763	2,879	7,540

3要素の影響とは・・・
 「1人当たり医療費」を「1人当たり件数(受診率)」・「1件当たり日数」・「1日当たり医療費」に分解し、3要素の違いを見ること。

● 24年度と31年度の比較（被保険者）		24年度	31年度	差
鹿児島支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）		5,858	10,763	4,906
3要素	受診率の違いによる差（円）	8,614	13,898	5,285
	1件当たり日数の違いによる差（円）	3,687	4,203	516
	1日当たり医療費の違いによる差（円）	△ 6,444	△ 7,338	△ 895

● 24年度と31年度の比較（被扶養者）		24年度	31年度	差
鹿児島支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）		2,879	7,540	4,660
3要素	受診率の違いによる差（円）	7,192	9,653	2,461
	1件当たり日数の違いによる差（円）	595	1,732	1,136
	1日当たり医療費の違いによる差（円）	△ 4,908	△ 3,844	1,063

【入院外】1人当たり医療費における3要素の影響

- ▶ 24年度と31年度の鹿児島支部と全国平均の1人当たり医療費の差は、被保険者5,085円、被扶養者4,557円である。
- ▶ 3要素の内訳をみると、被保険者・被扶養者ともに、受診率の違いによる差に大きく影響を受けている。

【入院外】	被保険者		被扶養者	
	24年度	31年度	24年度	31年度
鹿児島支部1人当たり医療費（円）	90,052	113,355	88,470	104,497
全国平均1人当たり医療費（円）	91,323	109,542	97,520	108,989
鹿児島支部と全国平均の差（円）	△ 1,271	3,813	△ 9,049	△ 4,492

3要素の影響とは・・・
「1人当たり医療費」を「1人当たり
件数（受診率）」・「1件当たり日
数」・「1日当たり医療費」に分解
し、3要素の違いを見ること。

● 24年度と31年度の比較（被保険者）

		24年度	31年度	差
鹿児島支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）		△ 1,271	3,813	5,085
3要素	受診率の違いによる差（円）	3,244	6,546	3,302
	1件当たり日数の違いによる差（円）	317	518	200
	1日当たり医療費の違いによる差（円）	△ 4,832	△ 3,250	1,582

● 24年度と31年度の比較（被扶養者）

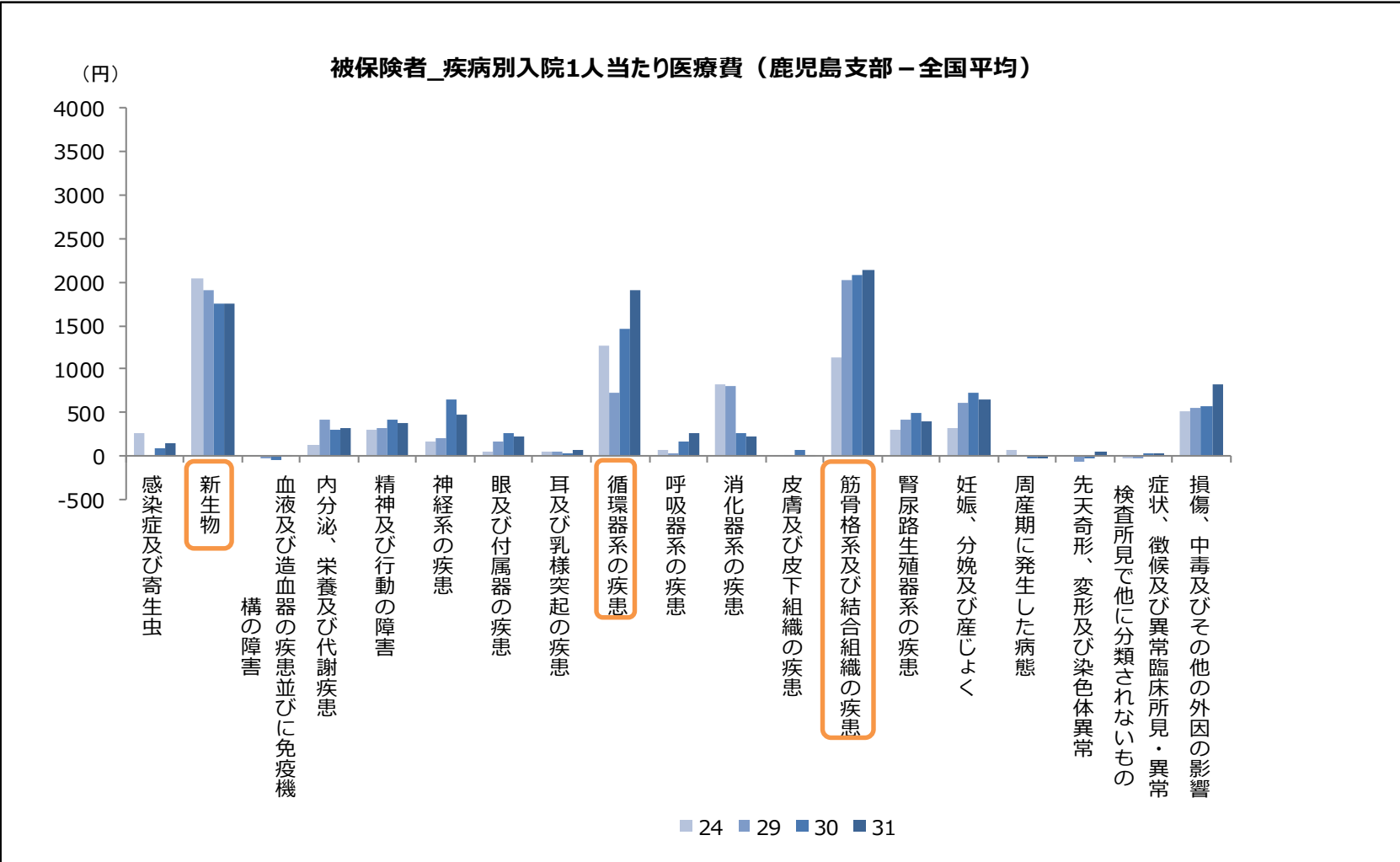
		24年度	31年度	差
鹿児島支部と全国平均の1人当たり医療費の差（円）		△ 9,049	△ 4,492	4,557
3要素	受診率の違いによる差（円）	△ 4,999	△ 2,024	2,975
	1件当たり日数の違いによる差（円）	1,001	2,740	1,739
	1日当たり医療費の違いによる差（円）	△ 5,052	△ 5,209	△ 157

【まとめ】

総医療費、加入者及び一人当たり医療費は、年々伸びてきている状況である。また、24年度と31年度の一人当たり医療費における3要素で比較してみると、全国より医療費が高くなっている一因として、入院と入院外のどちらも受診率の要素が大きく影響していると考えられる。

【入院】疾病別の1人当たり医療費（被保険者）

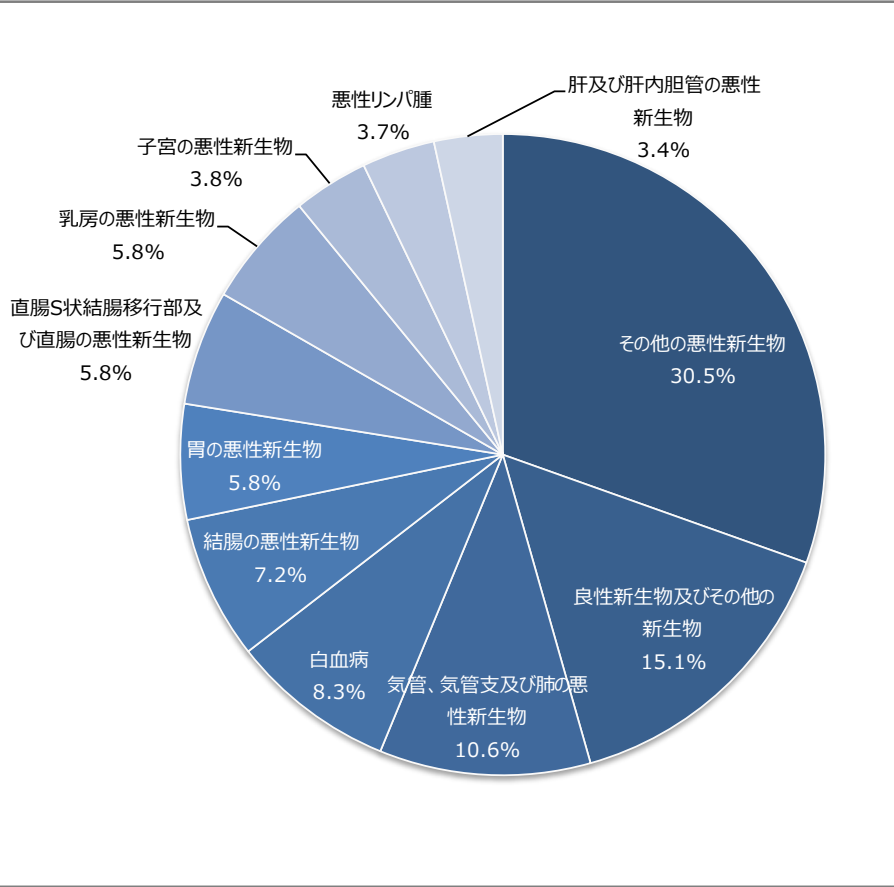
- ▶ 全国平均との差が顕著なのは、「新生物」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」である。
- ▶ 特に、「循環器系の疾患」は大幅に拡大傾向にあり、「筋骨格系及び結合組織の疾患」も徐々に増加している。



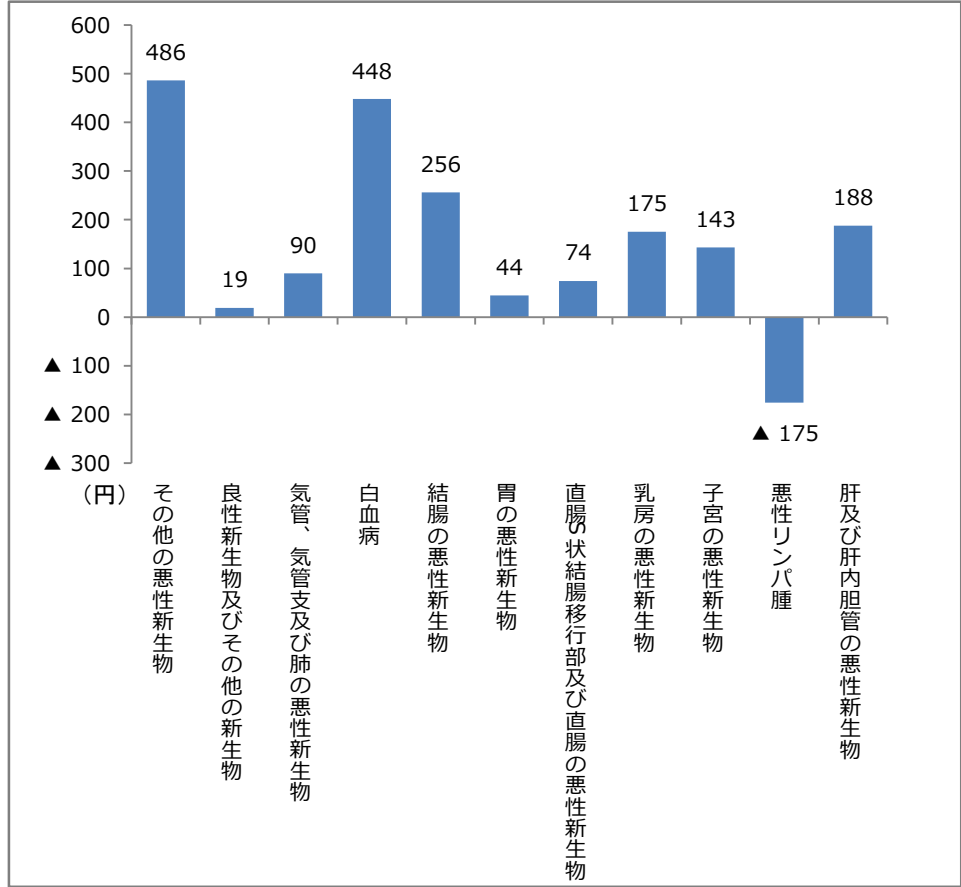
【入院】新生物にかかる1人当たり医療費（31年度 被保険者）

○割合の多い順から、「その他の悪性新生物」、「良性新生物及びその他の新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「その他の悪性新生物」、「白血病」、「結腸の悪性新生物」の差が顕著である。
 ※新生物にかかる1人当たり医療費における全国平均との差：1,748円

■ 鹿児島支部の新生物にかかる1人当たり医療費の内訳
 (入院_被保険者)



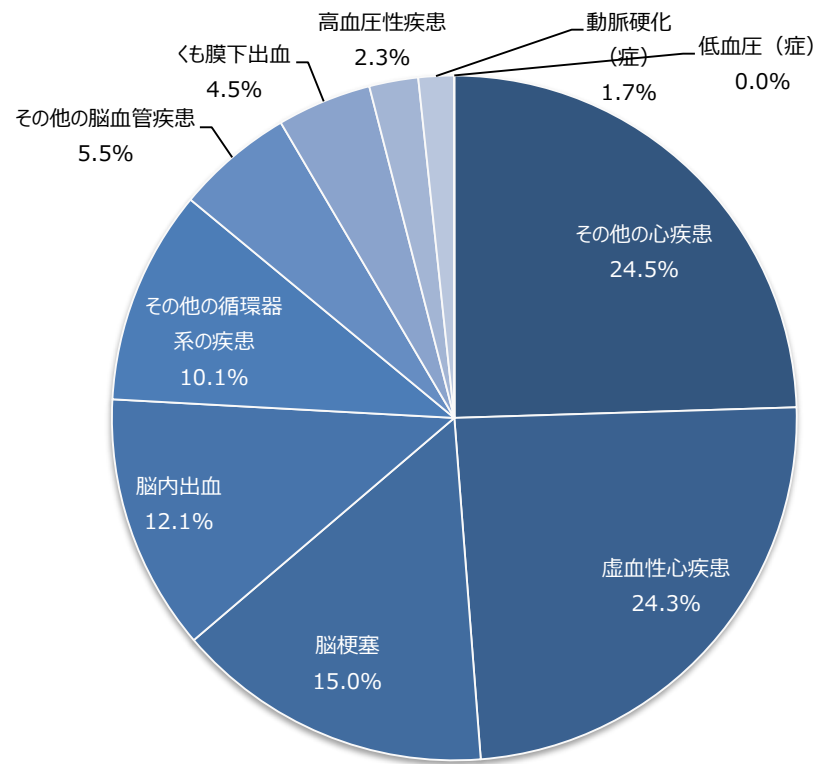
■ 鹿児島支部の新生物にかかる1人当たり医療費の全国平均との差
 (入院_被保険者)



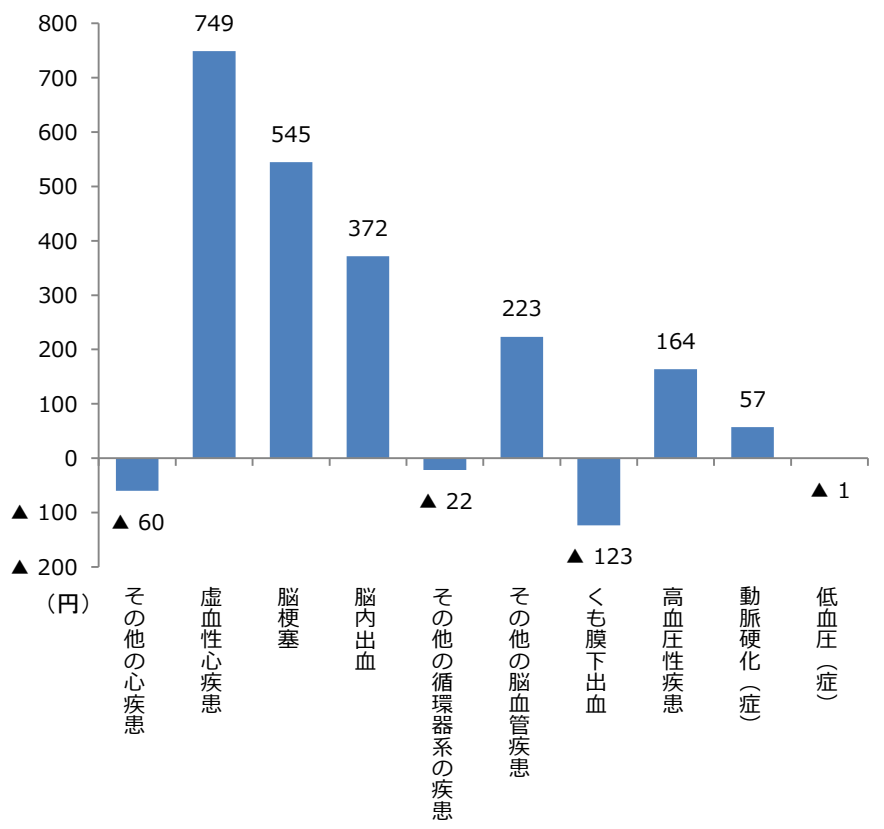
【入院】循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被保険者）

○割合の多い順から、「その他の心疾患」、「虚血性心疾患」、「脳梗塞」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「虚血性心疾患」、「脳梗塞」、「脳内出血」の差が顕著である。
 ※循環器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：1,904円

■ 鹿児島支部の循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳
 (入院_被保険者)



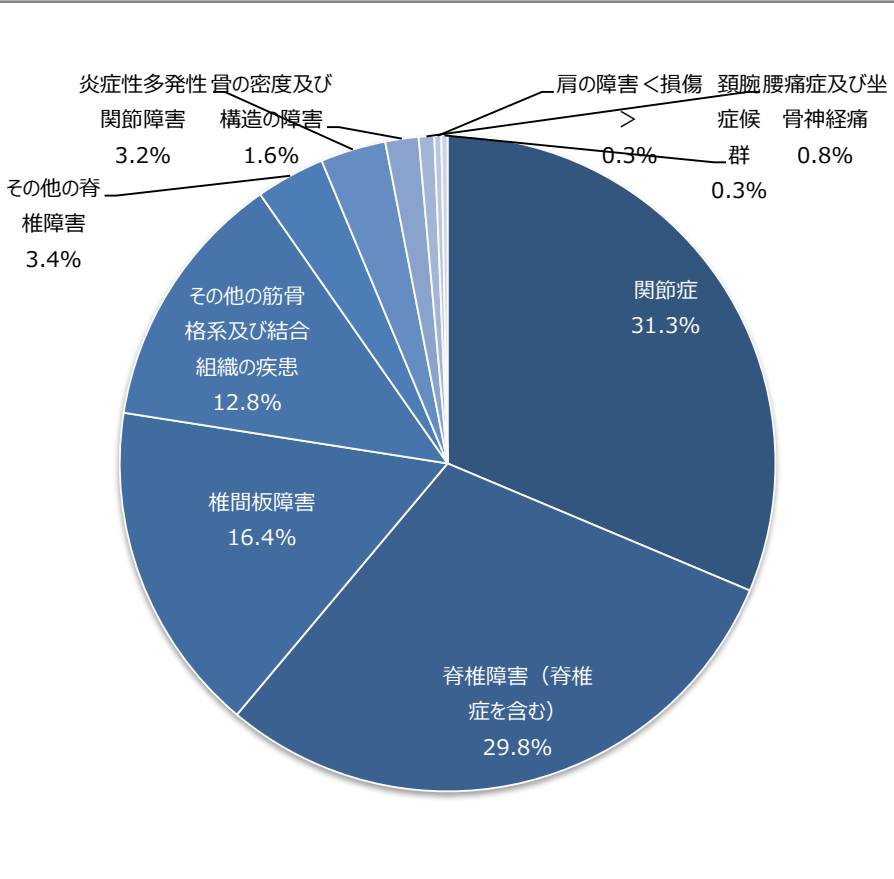
■ 鹿児島支部の循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差
 (入院_被保険者)



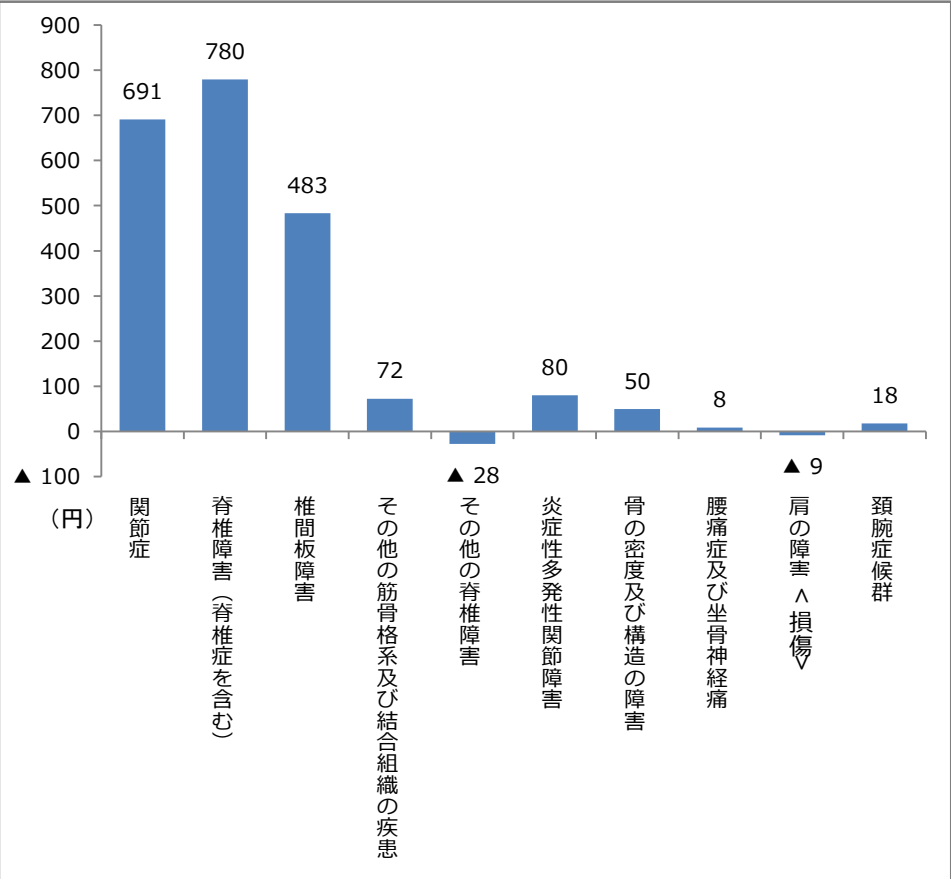
【入院】筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被保険者）

○割合の多い順から、「関節症」、「脊椎障害（脊椎症を含む）」、「椎間板障害」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「脊椎障害（脊椎症を含む）」、「関節症」、「椎間板障害」の差が顕著である。
 ※筋骨格系及び結合組織の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：2,145円

■ 鹿児島支部の筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳（入院_被保険者）

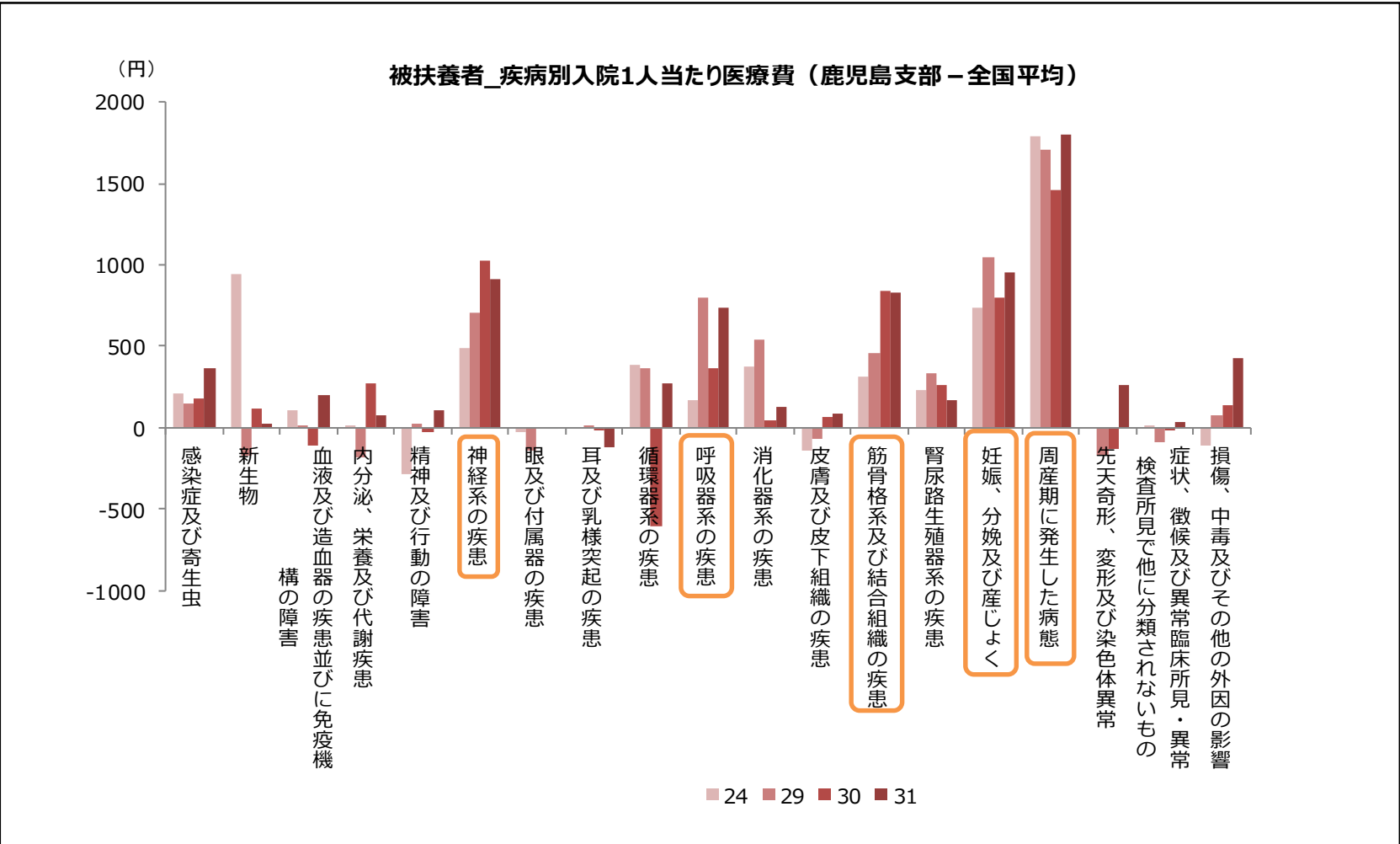


■ 鹿児島支部の筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院_被保険者）



【入院】疾病別の1人当たり医療費（被扶養者）

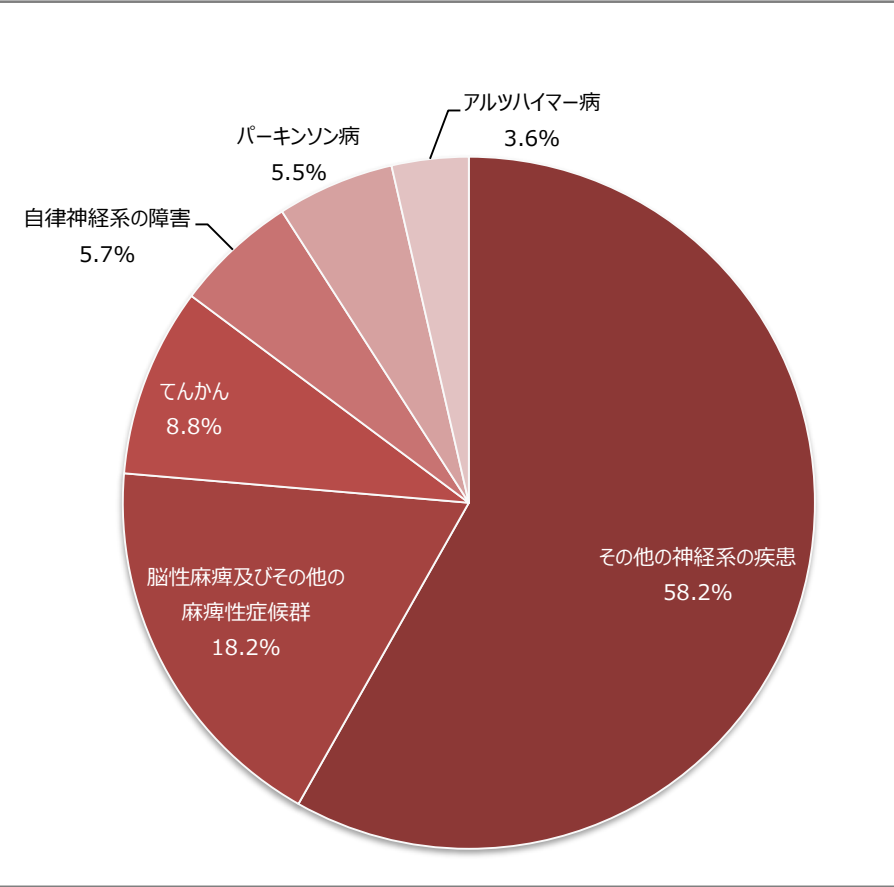
- ▶ 全国平均との差が顕著なのは、「神経系の疾患」、「呼吸器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「妊娠、分娩及び産じょく」、「周産期に発生した病態」である。
- ▶ 「呼吸器系の疾患」、「妊娠、分娩及び産じょく」、「周産期に発生した病態」は30年度に減少したが、31年度は増加している。



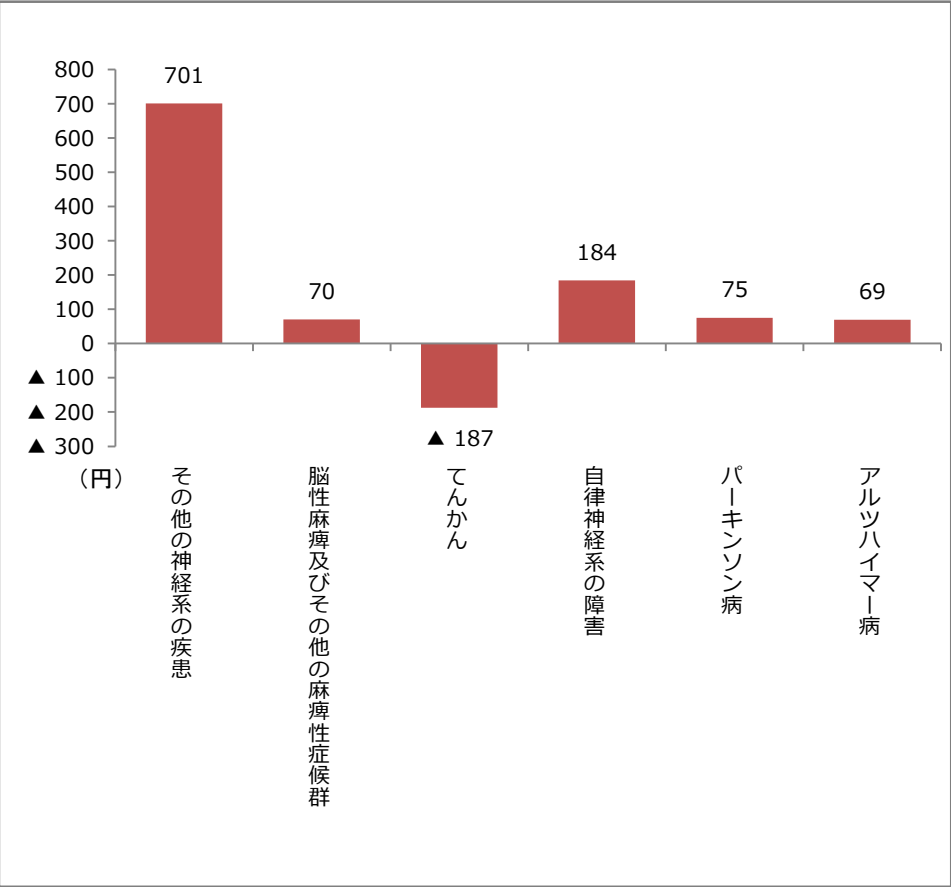
【入院】神経系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

○割合の多い順から、「その他の神経系の疾患」、「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」、「てんかん」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「その他の神経系の疾患」の差が顕著である。
 ※神経系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：912円

■ 鹿児島支部の神経系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳
 (入院_被扶養者)



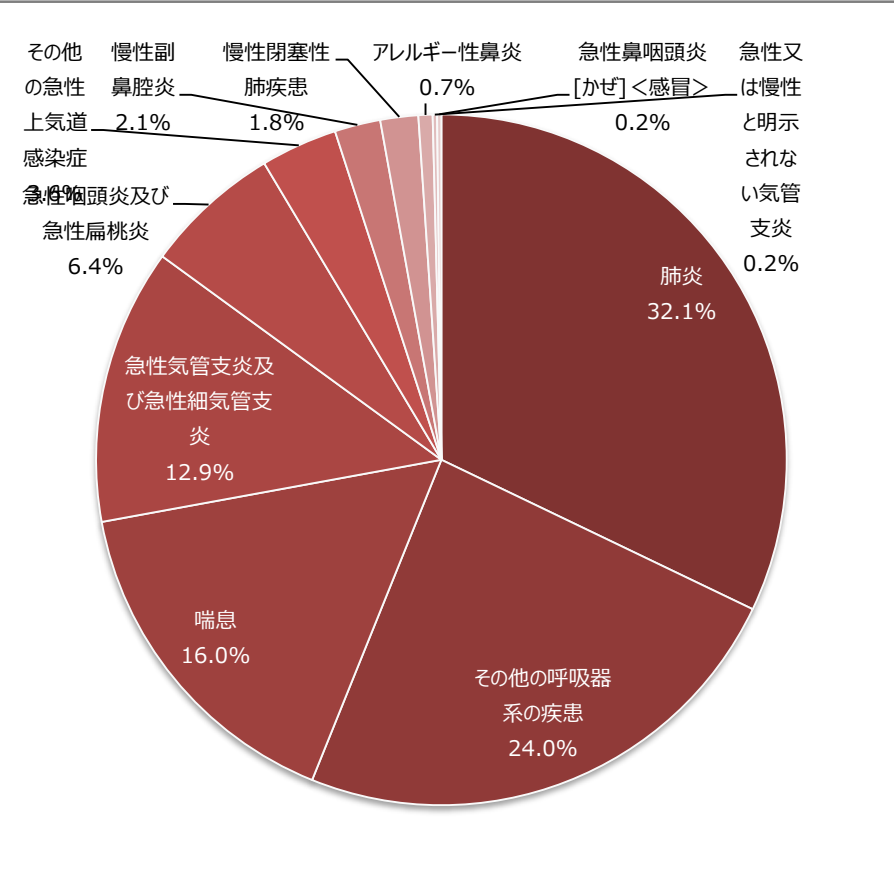
■ 鹿児島支部の神経系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差
 (入院_被扶養者)



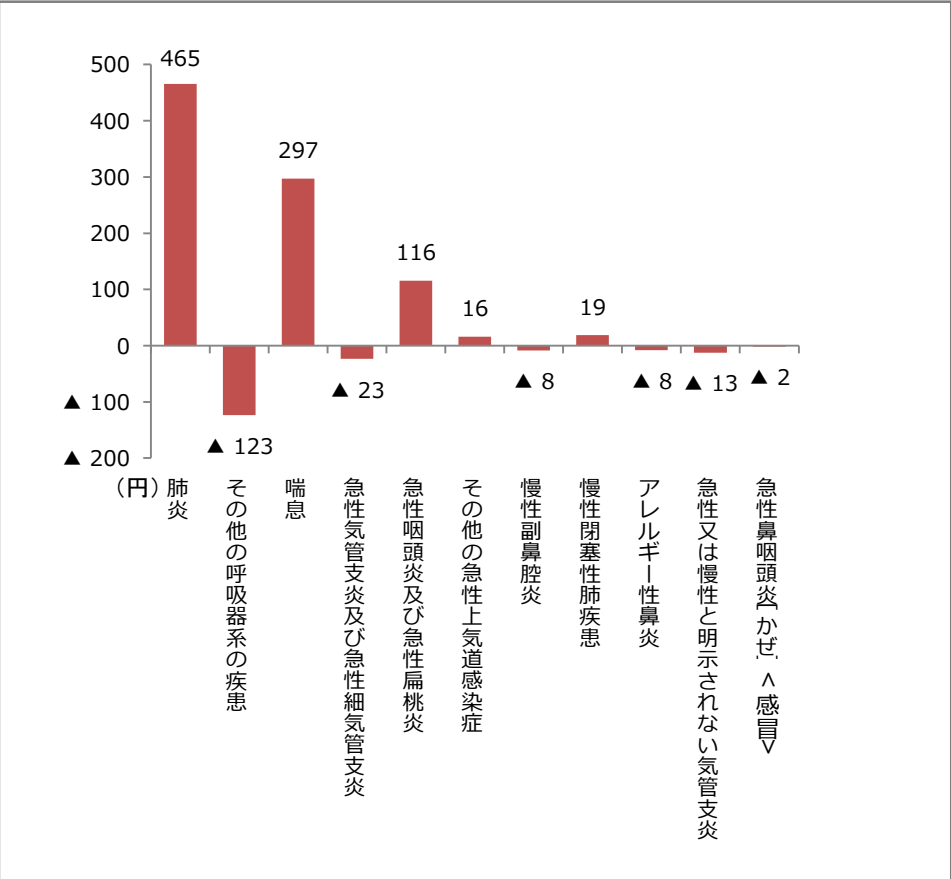
【入院】呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

- 割合の多い順から、「肺炎」、「その他の呼吸器系の疾患」、「喘息」となっている。
- 全国平均と比較すると、「肺炎」、「喘息」の差が顕著である。
- ※呼吸器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：736円

■ 鹿児島支部の呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳
(入院_被扶養者)



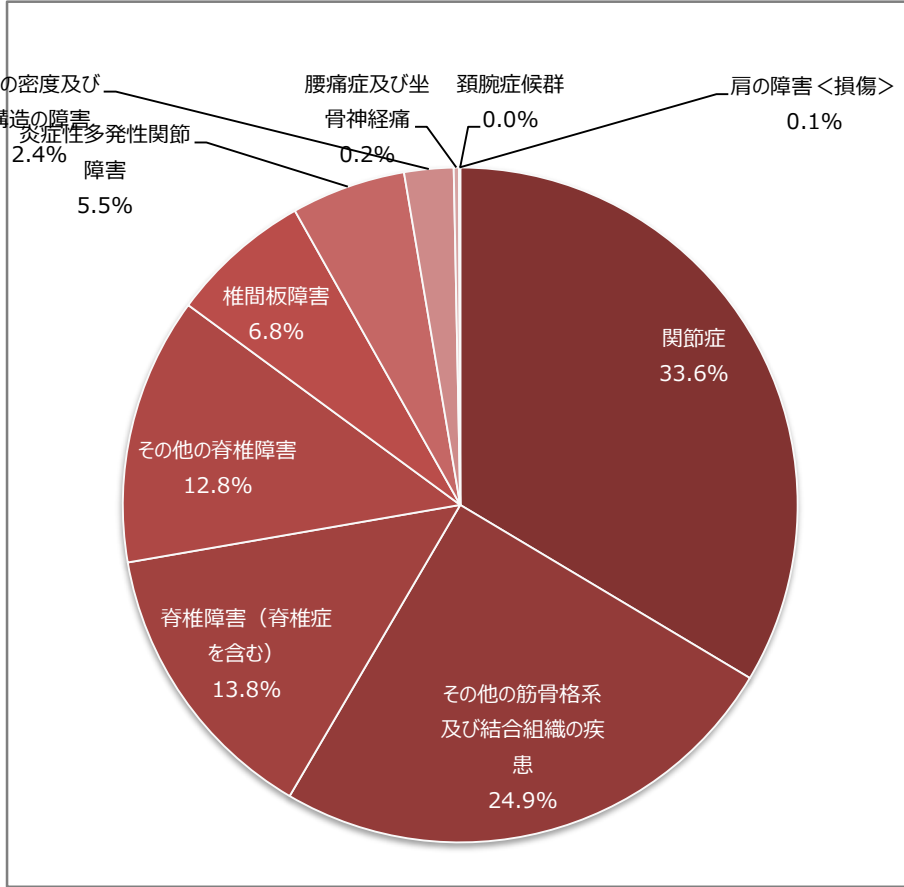
■ 鹿児島支部の呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差
(入院_被扶養者)



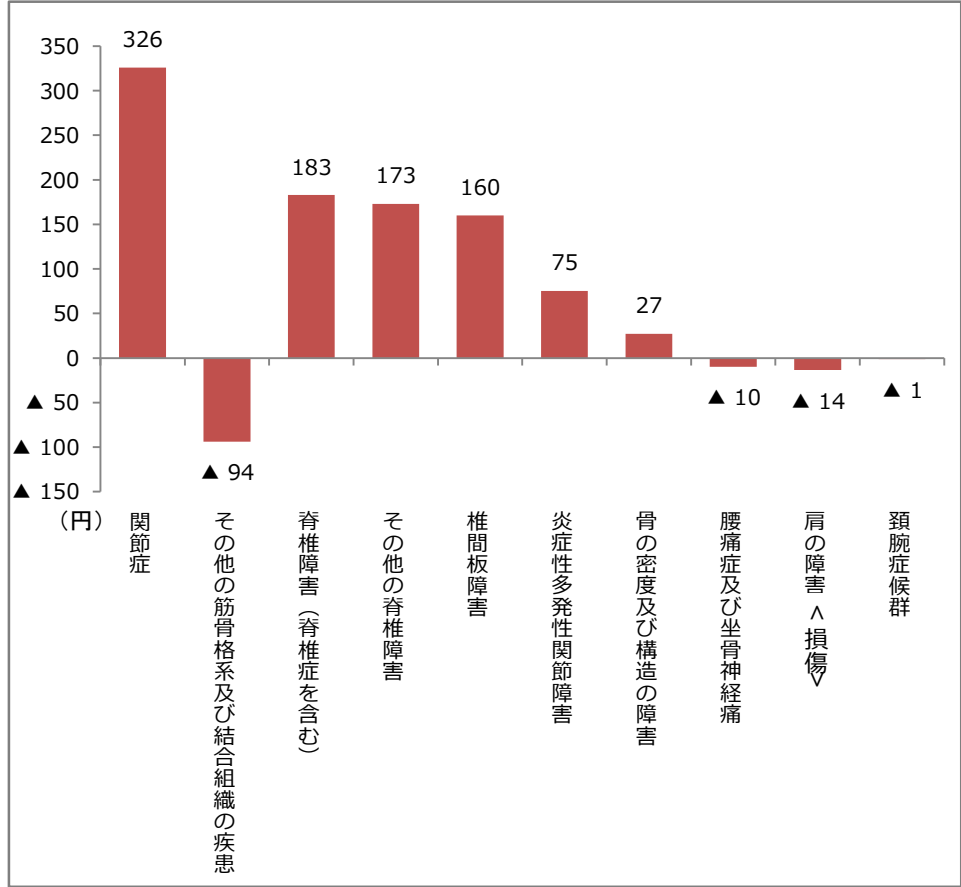
【入院】筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

○割合の多い順から、「関節症」、「その他の筋骨格系及び結合組織の疾患」、「脊椎障害（脊椎症を含む）」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「関節症」の差が顕著である。
 ※筋骨格系及び結合組織の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：825円

■ 鹿児島支部の筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳（入院_被扶養者）



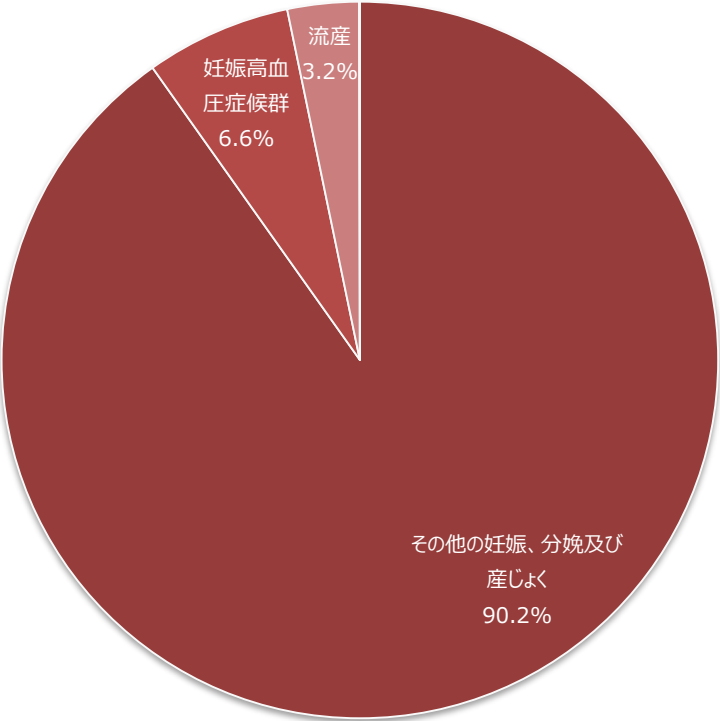
■ 鹿児島支部の筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院_被扶養者）



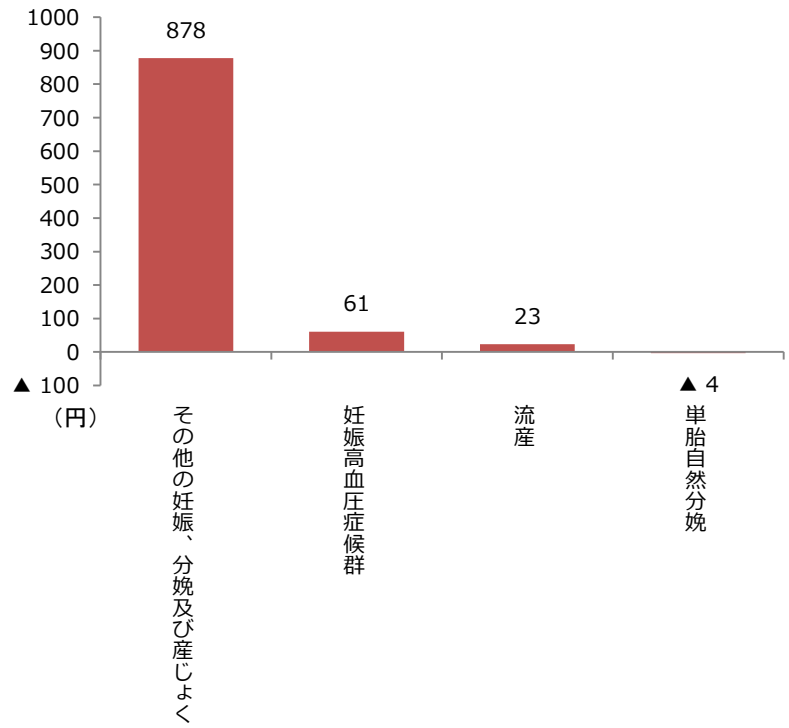
【入院】妊娠、分娩及び産じょにかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

- 割合の多い順から、「その他の妊娠、分娩及び産じょ」、「妊娠高血圧症候群」、「流産」となっている。
- 全国平均と比較すると、「その他の妊娠、分娩及び産じょ」の差が顕著である。
- ※妊娠、分娩及び産じょにかかる1人当たり医療費における全国平均との差：958円

■ 鹿児島支部の妊娠、分娩及び産じょにかかる1人当たり医療費の内訳（入院_被扶養者）



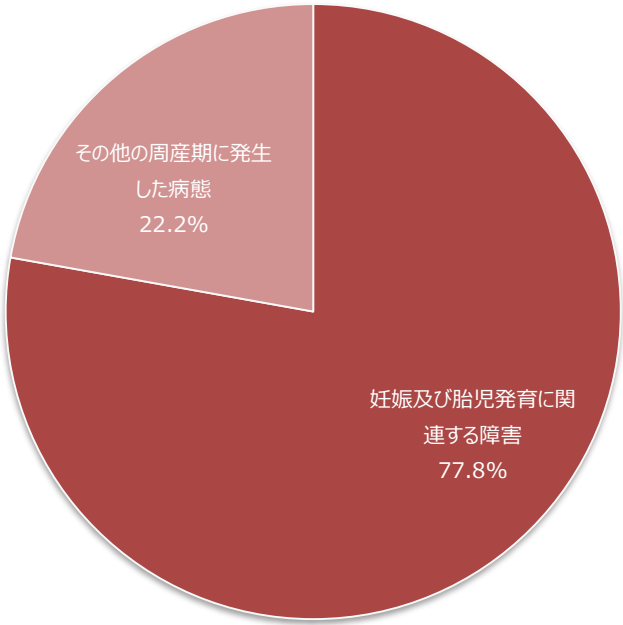
■ 鹿児島支部の妊娠、分娩及び産じょにかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院_被扶養者）



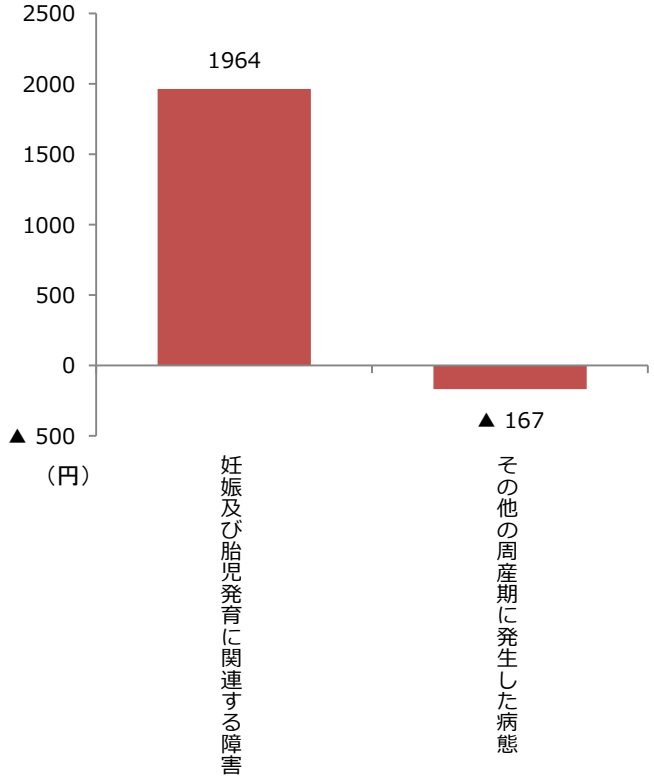
【入院】周産期に発生した病態にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

- 割合の多い順から、「妊娠及び胎児発育に関連する障害」、「その他の周産期に発生した病態」となっている。
- 全国平均と比較すると、「妊娠及び胎児発育に関連する障害」の差が顕著である。
- ※周産期に発生した病態にかかる1人当たり医療費における全国平均との差：1,797円

■ 鹿児島支部の周産期に発生した病態にかかる1人当たり医療費の内訳（入院_被扶養者）

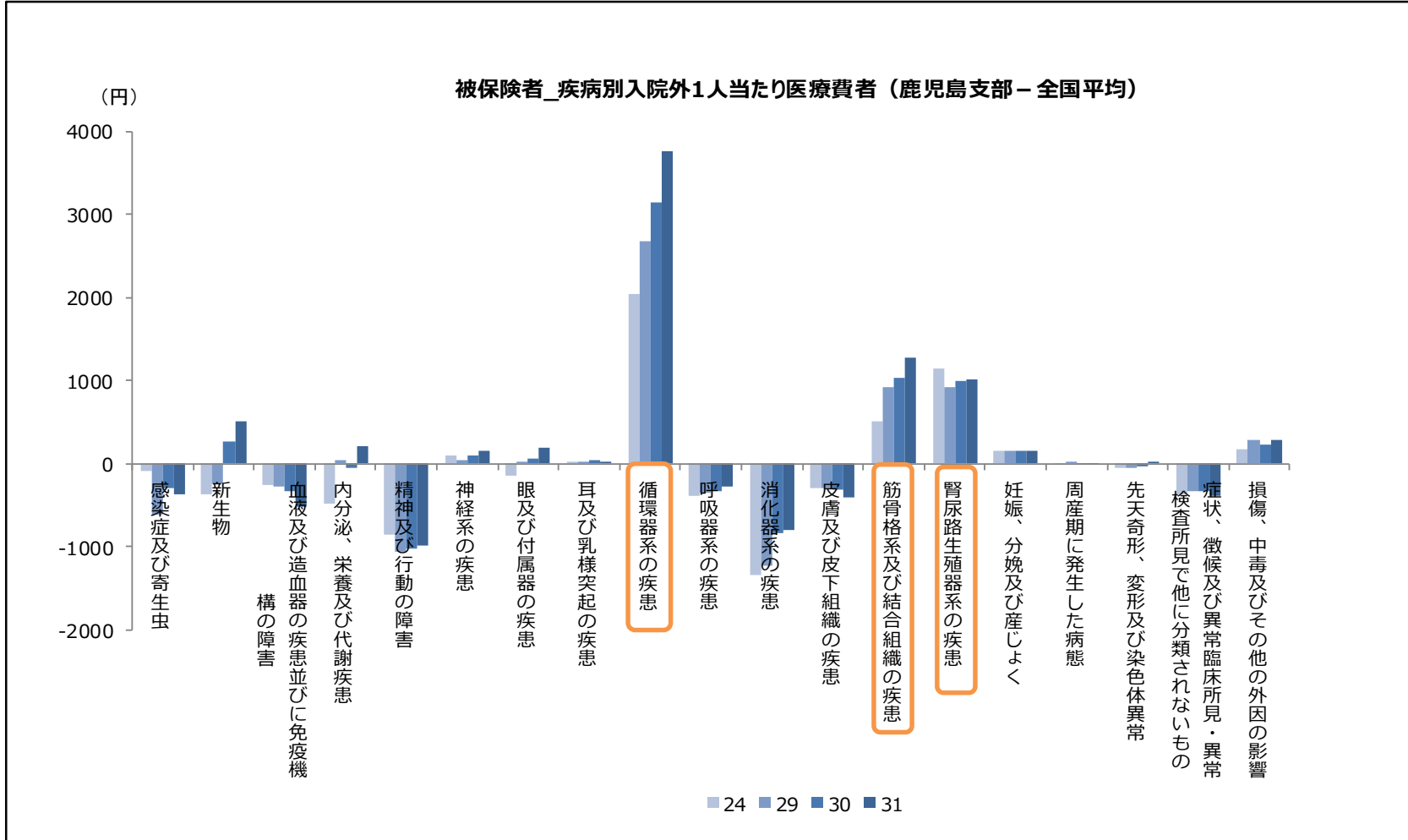


■ 鹿児島支部の周産期に発生した病態にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院_被扶養者）



【入院外】疾病別の1人当たり医療費（被保険者）

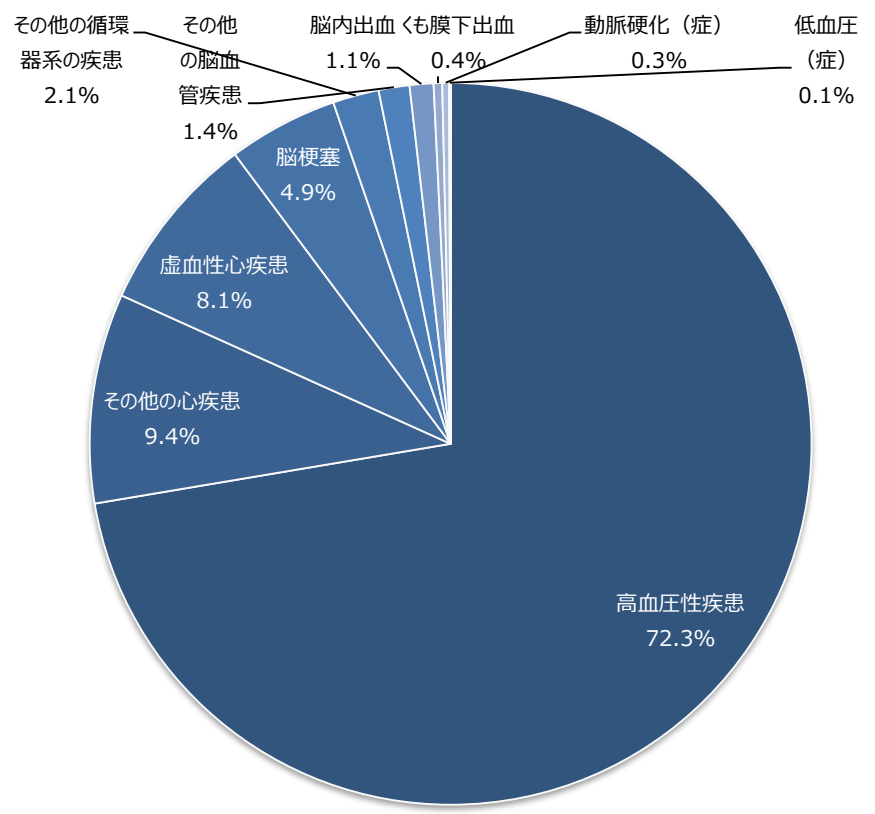
- ▶ 全国平均との差が顕著なのは、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」である。
- ▶ 「循環器系の疾患」は大幅に増加傾向である。



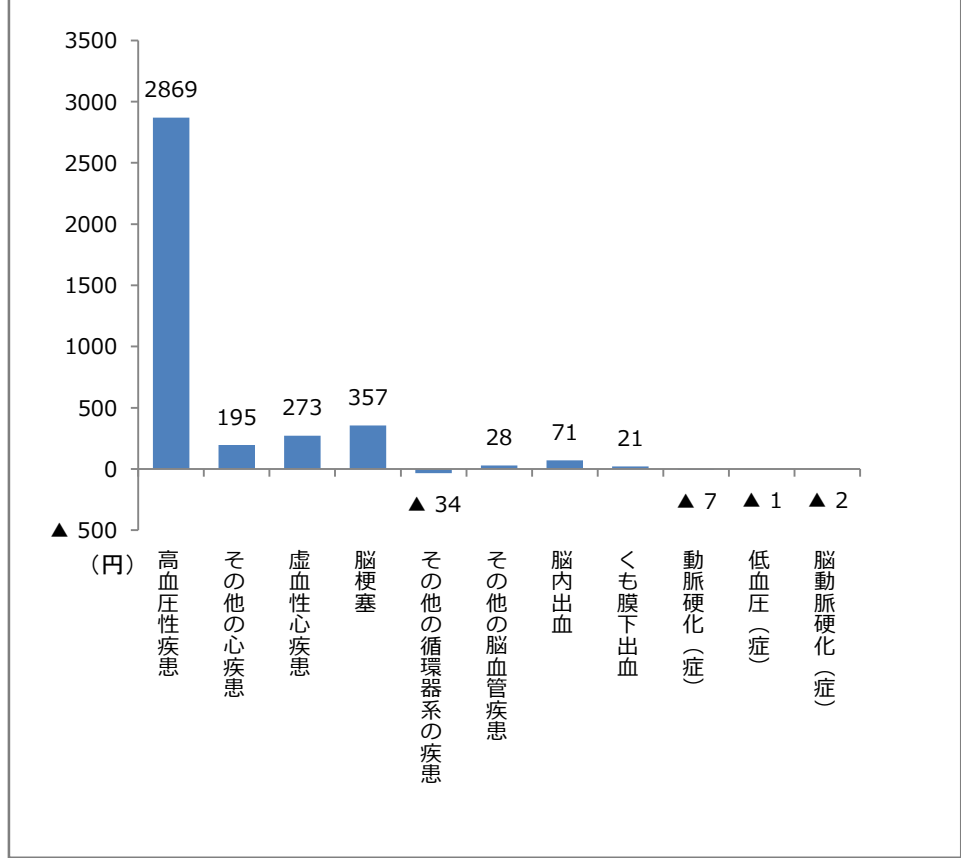
【入院外】循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被保険者）

- 割合の多い順から、「高血圧性疾患」、「その他の心疾患」、「虚血性心疾患」となっている。
- 全国平均と比較すると、「高血圧性疾患」、「脳梗塞」、「虚血性心疾患」の差が顕著である。
- ※循環器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：3,770円

■ 鹿児島支部の循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳
（入院外_被保険者）



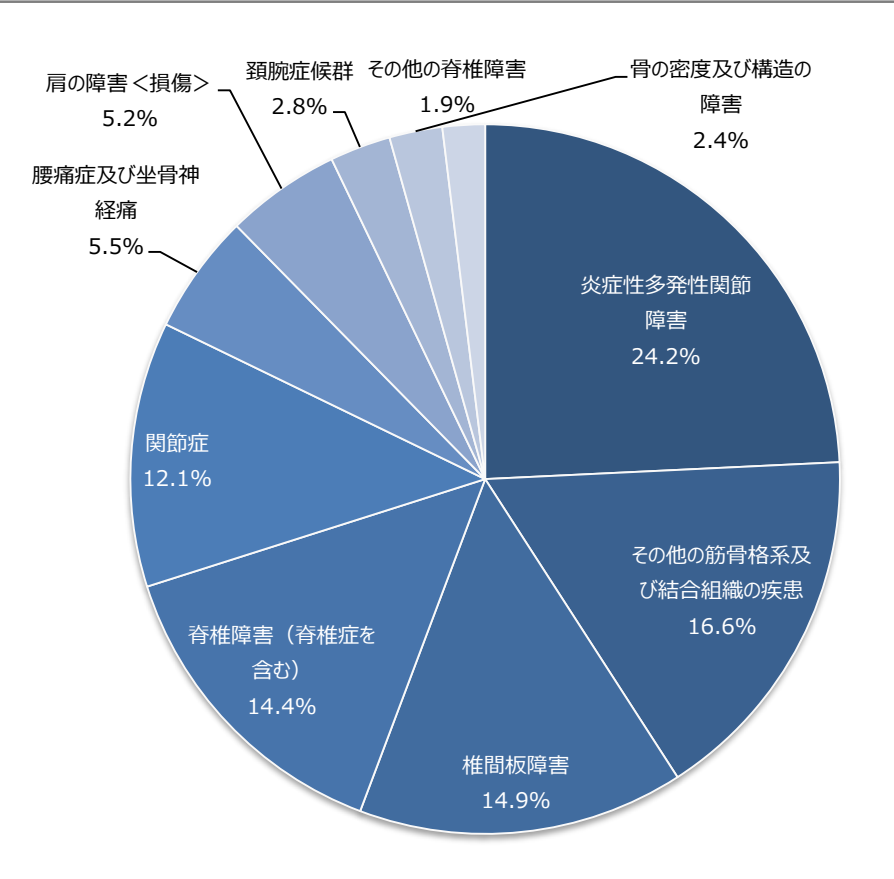
■ 鹿児島支部の循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費の
全国平均との差（入院外_被保険者）



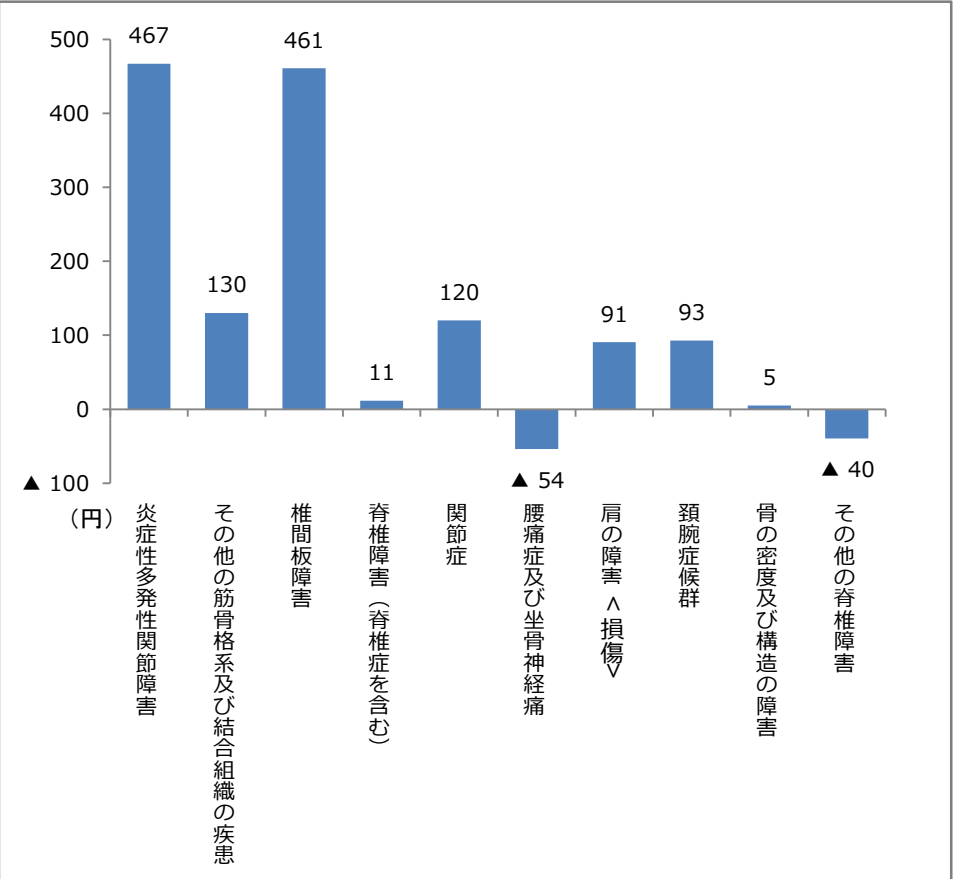
【入院外】筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被保険者）

○割合の多い順から、「炎症性多発性関節障害」、「その他の筋骨格系及び結合組織の疾患」、「椎間板障害」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「炎症性多発性関節障害」、「椎間板障害」の差が顕著である。
 ※筋骨格系及び結合組織の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：1,284円

■ 鹿児島支部の筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳（入院外_被保険者）



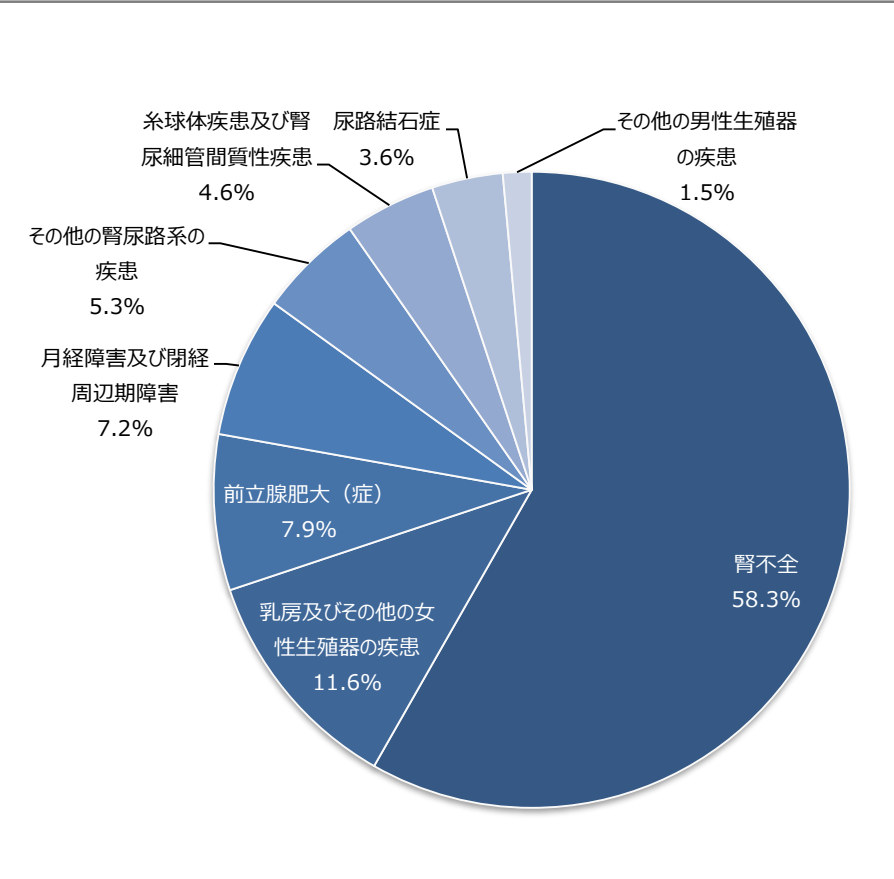
■ 鹿児島支部の筋骨格系及び結合組織の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院外_被保険者）



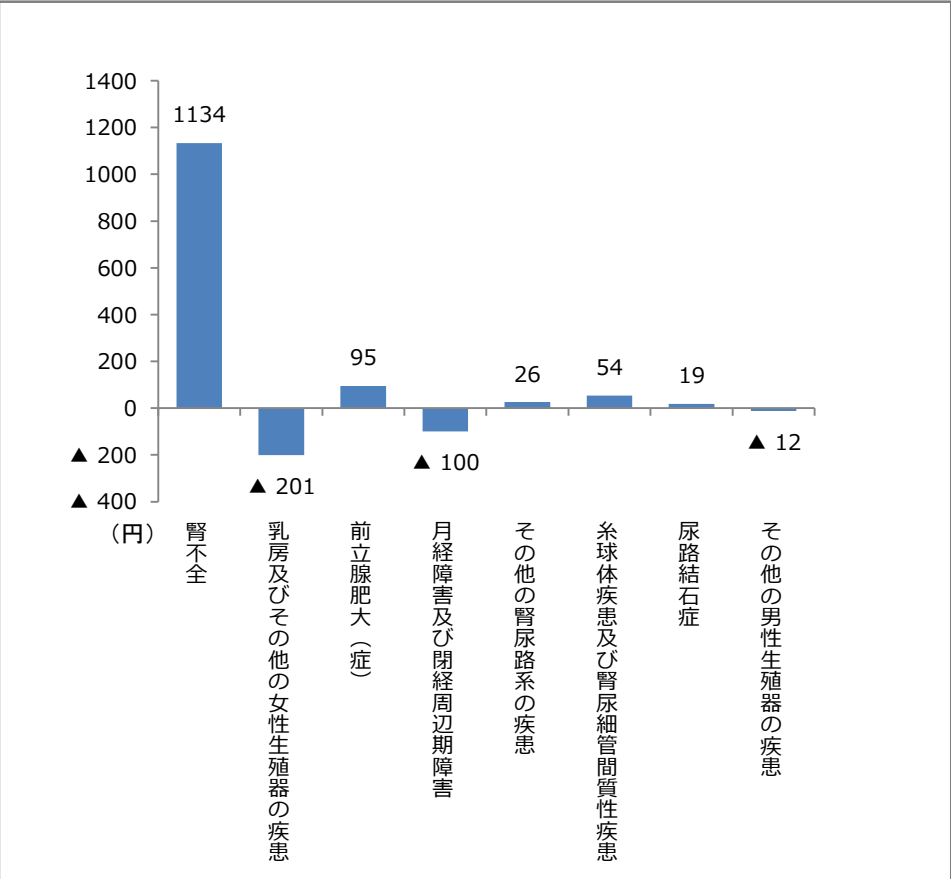
【入院外】腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被保険者）

○割合の多い順から、「腎不全」、「乳房及びその他の女性生殖器の疾患」、「前立腺肥大（症）」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「腎不全」の差が顕著である。
 ※腎尿路生殖器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：1,015円

■ 鹿児島支部の腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳（入院外_被保険者）

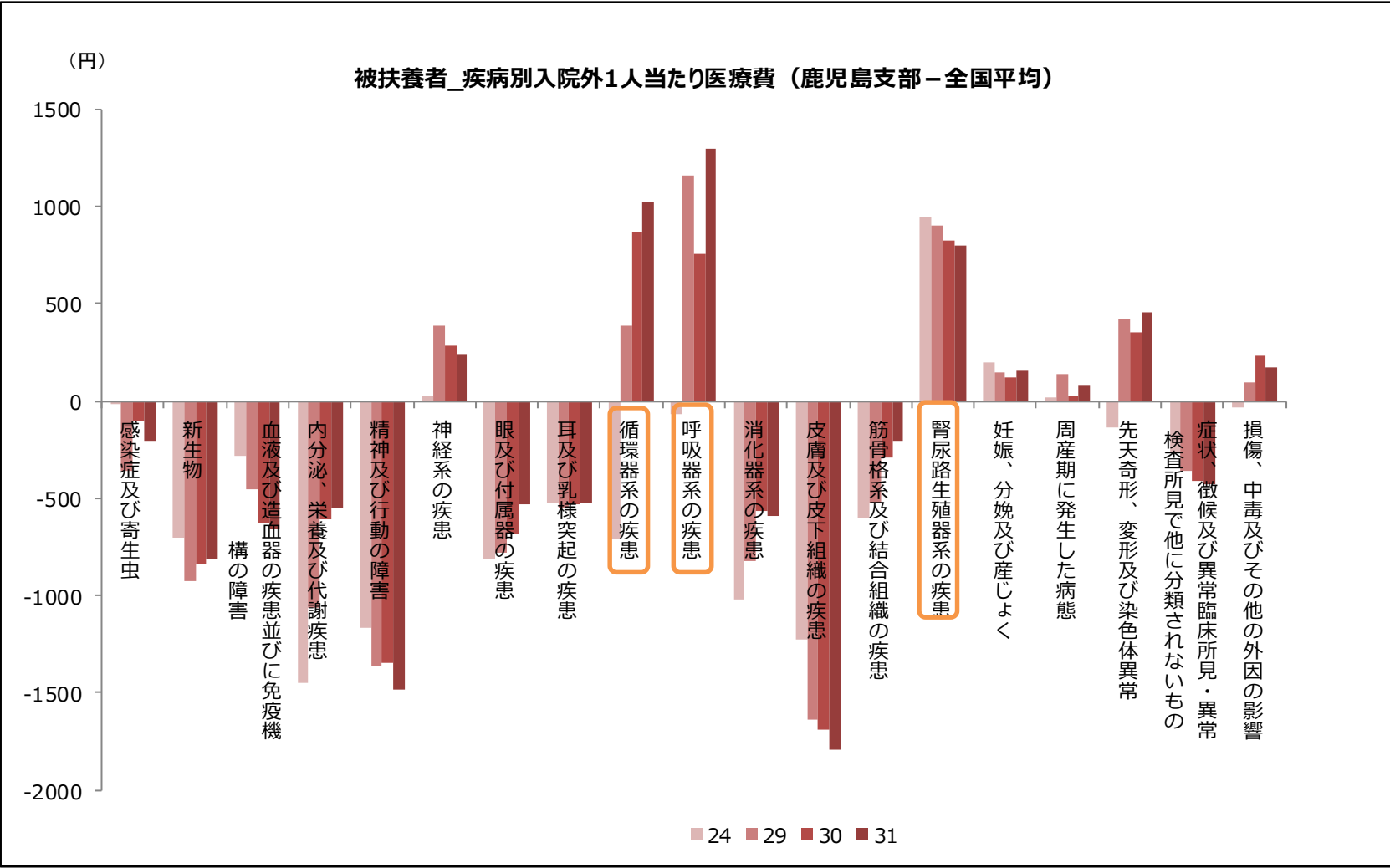


■ 鹿児島支部の腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院外_被保険者）



【入院外】疾病別の1人当たり医療費（被扶養者）

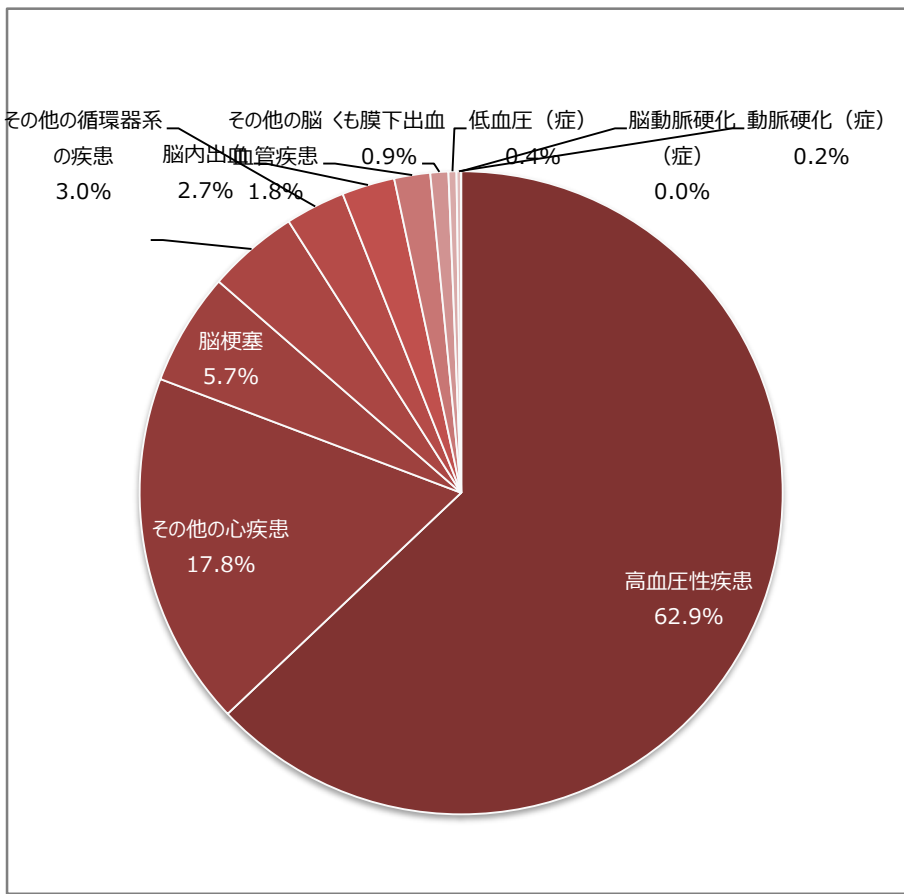
- 全国平均との差が顕著なのは、「循環器系の疾患」、「呼吸器系の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」である。
- 特に、「循環器系の疾患」、「呼吸器系の疾患」が増加傾向である。



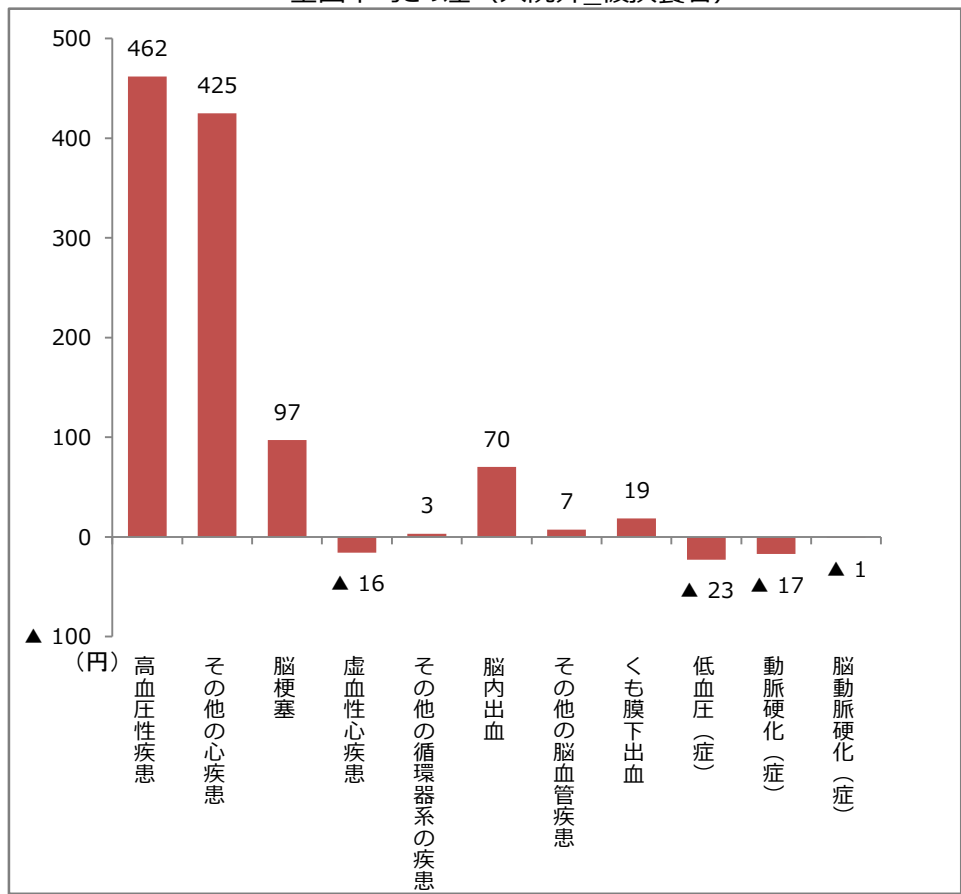
【入院外】循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

- 割合の多い順から、「高血圧性疾患」、「その他の心疾患」、「脳梗塞」となっている。
- 全国平均と比較すると、「高血圧性疾患」、「その他の心疾患」の差が顕著である。
- ※循環器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：1,026円

■ 鹿児島支部の循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳
(入院外_被扶養者)



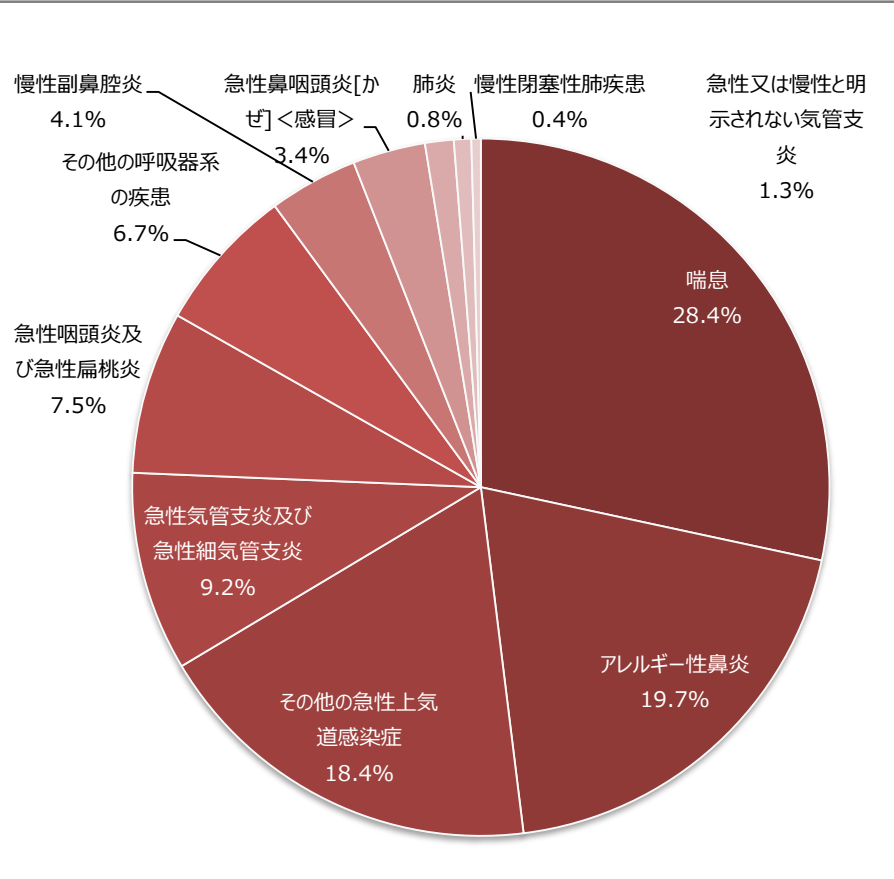
■ 鹿児島支部の循環器系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院外_被扶養者）



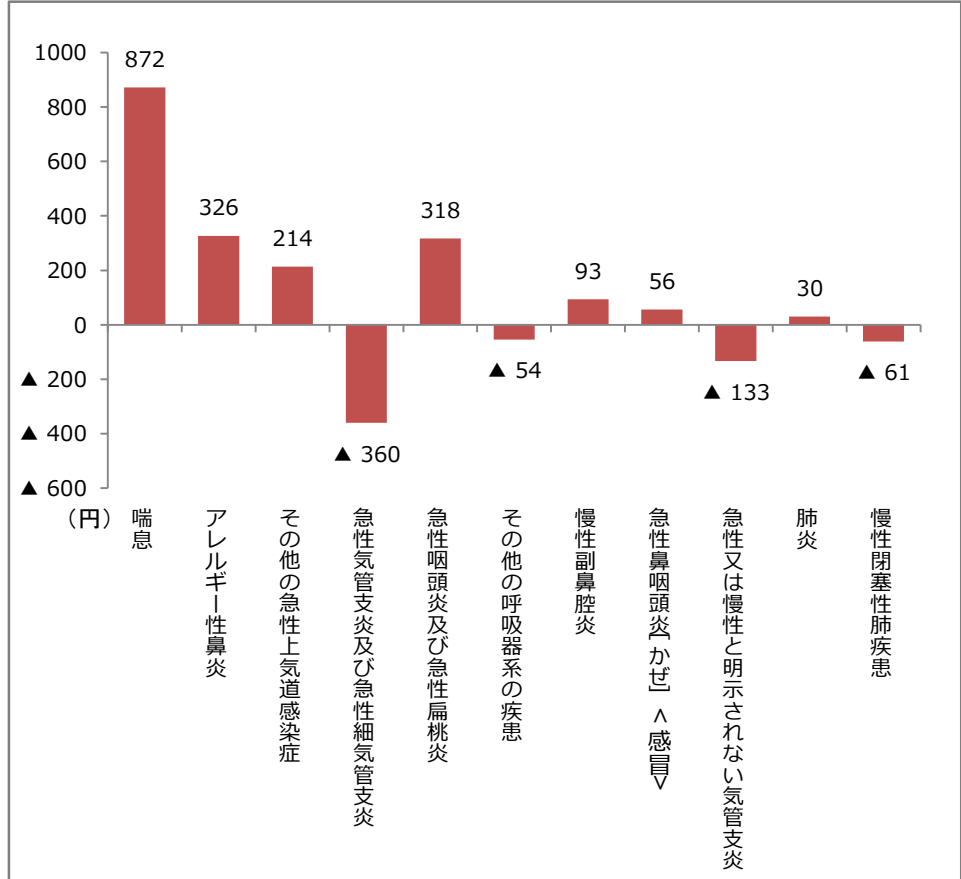
【入院外】呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

- 割合の多い順から、「喘息」、「アレルギー性鼻炎」、「その他の急性上気道感染症」となっている。
- 全国平均と比較すると、「喘息」、「アレルギー性鼻炎」、「急性咽喉炎及び急性扁桃炎」の差が顕著である。
- ※呼吸器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：1,301円

■ 鹿児島支部の呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳
(入院外_被扶養者)



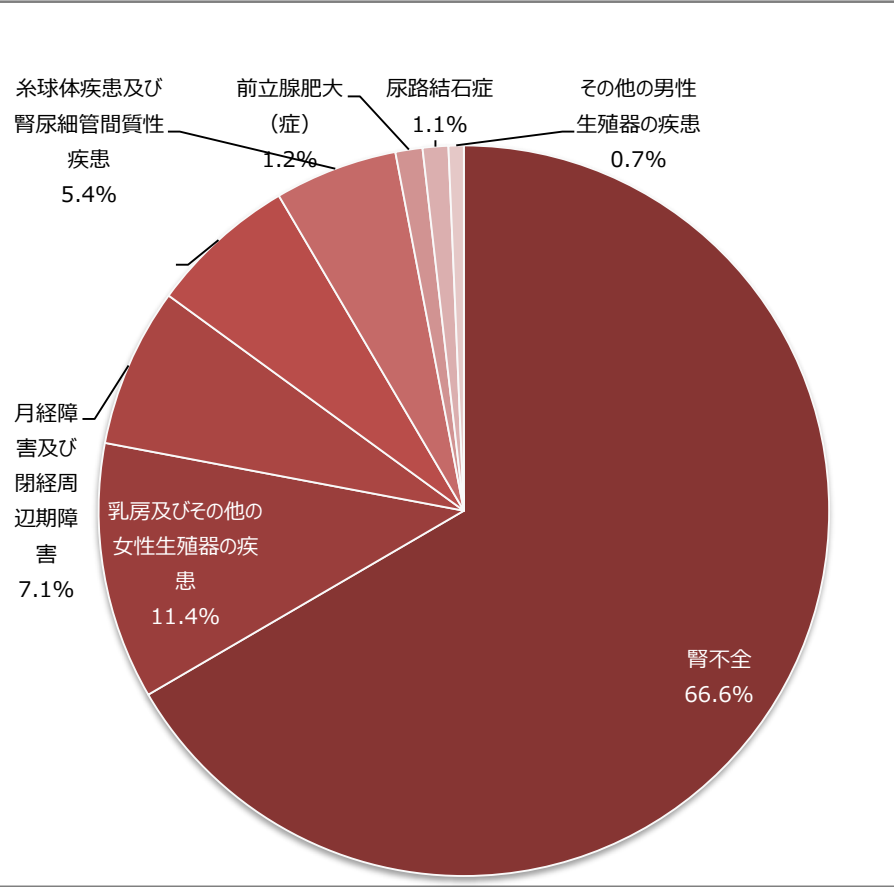
■ 鹿児島支部の呼吸器系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院外_被扶養者）



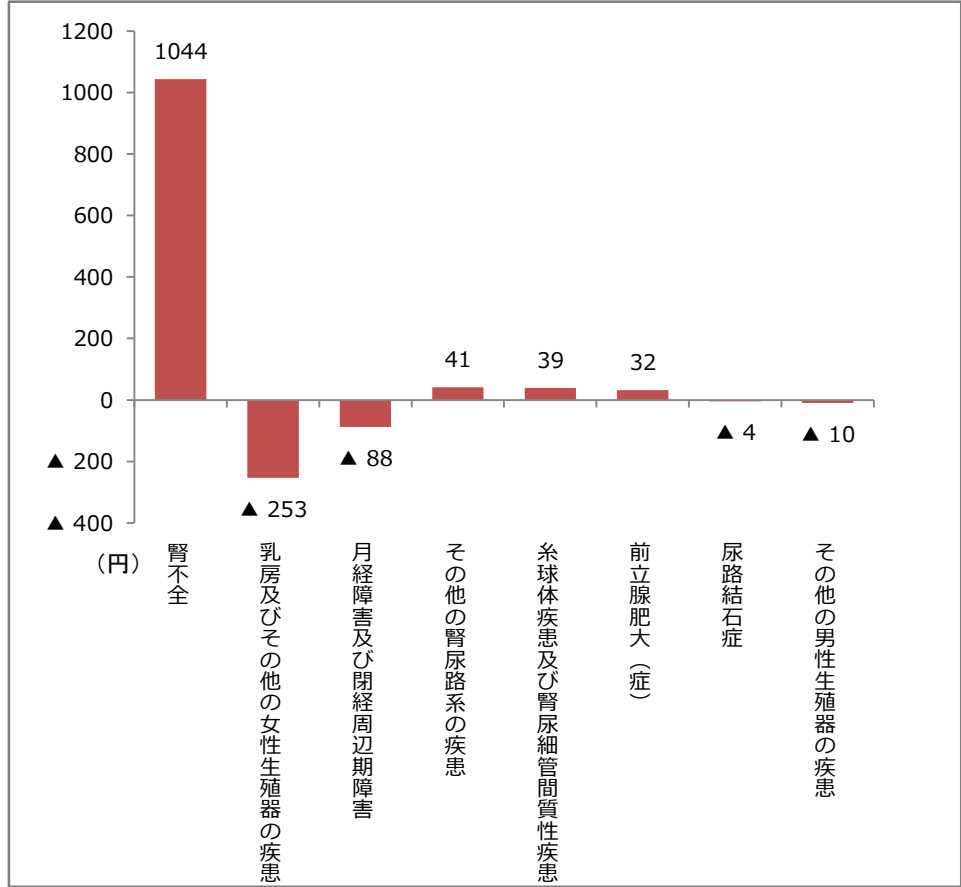
【入院外】腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費（31年度 被扶養者）

○割合の多い順から、「腎不全」、「乳房及びその他の女性生殖器の疾患」、「月経障害及び閉経周辺期障害」となっている。
 ○全国平均と比較すると、「腎不全」の差が顕著である。
 ※腎尿路生殖器系の疾患の1人当たり医療費における全国平均との差：801円

■ 鹿児島支部の腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費の内訳（入院外_被扶養者）



■ 鹿児島支部の腎尿路生殖器系の疾患にかかる1人当たり医療費の全国平均との差（入院外_被扶養者）



【まとめ】

入院の疾病別1人当たり医療費が全国平均との差が顕著なのは、被保険者は、「新生物」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」であり、被扶養者は、「神経系の疾患」、「呼吸器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「妊娠、分娩及び産じょく」、「周産期に発生した病態」である。

また、入院外の疾病別1人当たり医療費が全国平均との差が顕著なのは、被保険者は、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」であり、被扶養者は、「循環器系の疾患」、「呼吸器系の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」である。

全体的にみて、入院、入院外とも「循環器系の疾患」と「筋骨格系及び結合組織の疾患」の全国平均との差が顕著である。